

問 11 自治基本条例について

問 11-1 「大阪狭山市自治基本条例」を知っていますか（○は1つ）

【全体】

○「まったく聞いたことがない」が 53.7%と最も高く、次いで「読んだことはないが、名前を聞いたり、見たりしたことはある」が 29.3%となっている。

○令和元年の調査と比較すると、「まったく聞いたことがない」は前回調査よりも 4.6 ポイント下がっている。

【性別】

○男女ともに「まったく聞いたことがない」が 50%以上となっている。

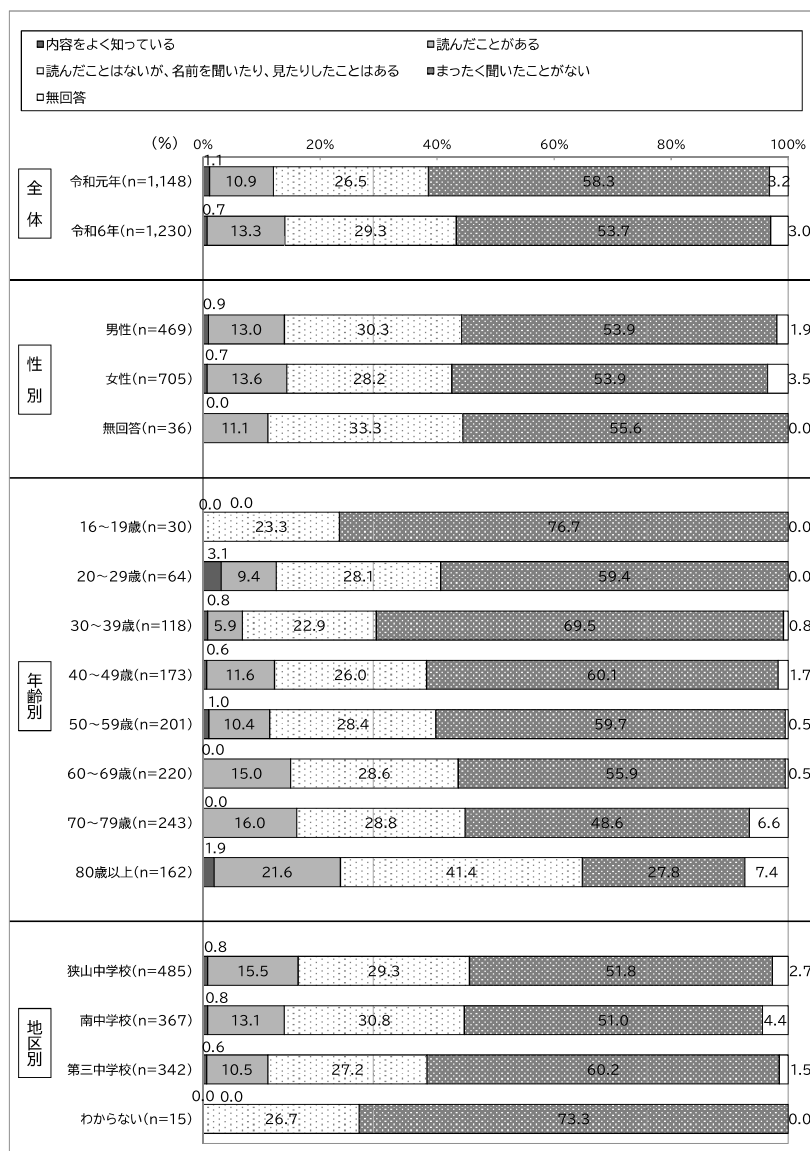
【年齢別】

○10 歳代と 30 歳代は他の年代に比べ「まったく聞いたことがない」が高い。

○80 歳以上は他の年代に比べ「読んだことがある」、「読んだことはないが、名前を聞いたり、見たりしたことはある」が高い。

【地区別】

○すべての地区で「まったく聞いたことがない」が 50%以上となっている。



問 11-2 問 11-1 で 1～3 に回答した方にお聞きます。「大阪狭山市自治基本条例」を何で知りましたか。(〇はいくつでも)

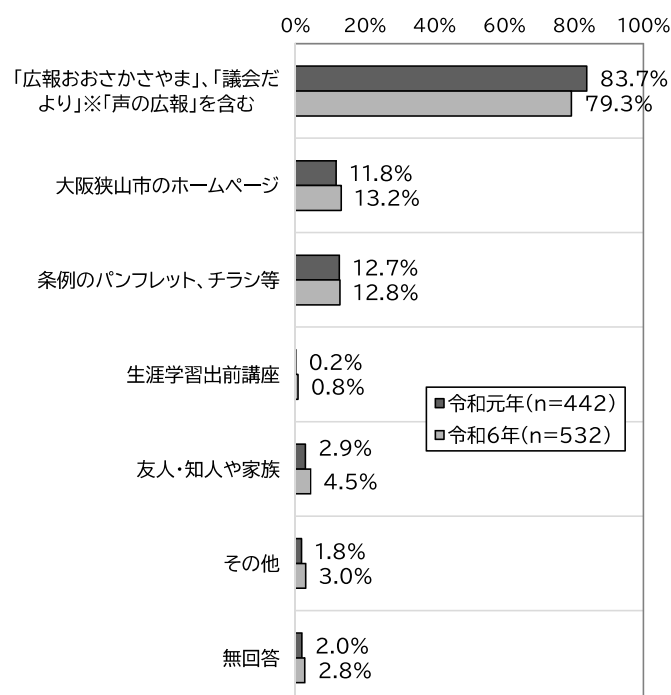
【全体】

○「「広報おおさかさやま」、「議会だより」 ※「声の広報」を含む」が 79.3%と最も高く、次いで「大阪狭山市のホームページ」が13.2%となっている。

○令和元年の調査と同様の傾向となっている。

	有効回答数（件）	「広報おおさかさやま」、「議会だより」 ※「声の広報」を含む	大阪狭山市のホームページ	条例のパンフレット、チラシ等	生涯学習出前講座	友人・知人や家族	その他	無回答
全体	532	79.3%	13.2%	12.8%	0.8%	4.5%	3.0%	2.8%
男性	207	77.3%	17.9%	12.1%	1.0%	2.9%	3.9%	2.4%
女性	300	81.7%	10.3%	13.3%	0.3%	5.3%	2.3%	3.0%
無回答	16	68.8%	12.5%	6.3%	-	6.3%	-	6.3%
16～19歳	7	42.9%	71.4%	-	-	14.3%	-	-
20～29歳	26	53.8%	23.1%	15.4%	3.8%	11.5%	3.8%	3.8%
30～39歳	35	68.6%	14.3%	17.1%	-	5.7%	-	2.9%
40～49歳	66	86.4%	13.6%	7.6%	-	1.5%	3.0%	1.5%
50～59歳	80	76.3%	10.0%	17.5%	-	1.3%	1.3%	2.5%
60～69歳	96	81.3%	11.5%	10.4%	-	1.0%	6.3%	2.1%
70～79歳	109	81.7%	13.8%	12.8%	-	7.3%	3.7%	4.6%
80歳以上	105	84.8%	10.5%	13.3%	1.9%	5.7%	1.9%	2.9%
狭山中学校	221	81.4%	10.4%	14.5%	0.9%	5.4%	2.7%	2.3%
南中学校	164	78.7%	16.5%	12.2%	0.6%	2.4%	5.5%	2.4%
第三中学校	131	77.1%	15.3%	10.7%	-	4.6%	0.8%	3.8%
わからない	4	25.0%	-	25.0%	-	25.0%	-	25.0%

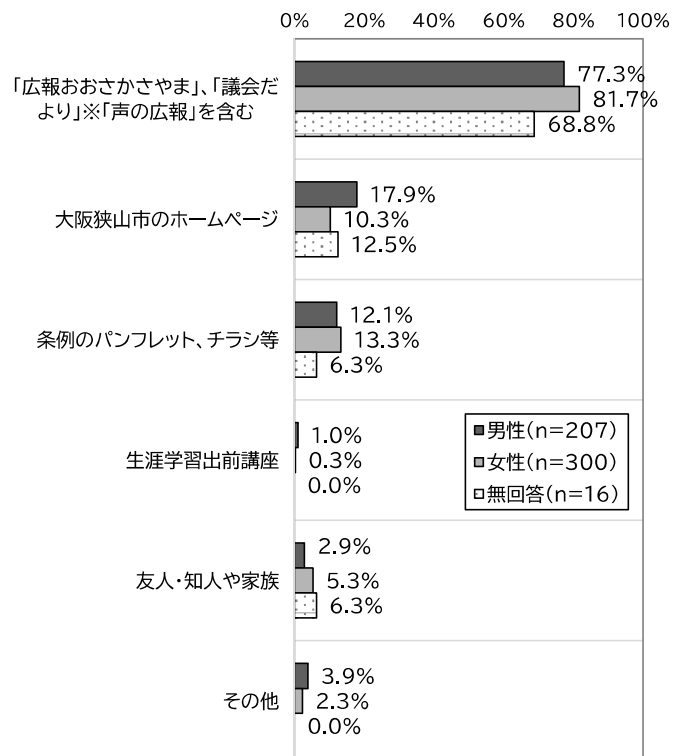
第一位 第二位



【性別】

○男性は女性に比べ「大阪狭山市のホームページ」が高い。

【性別】

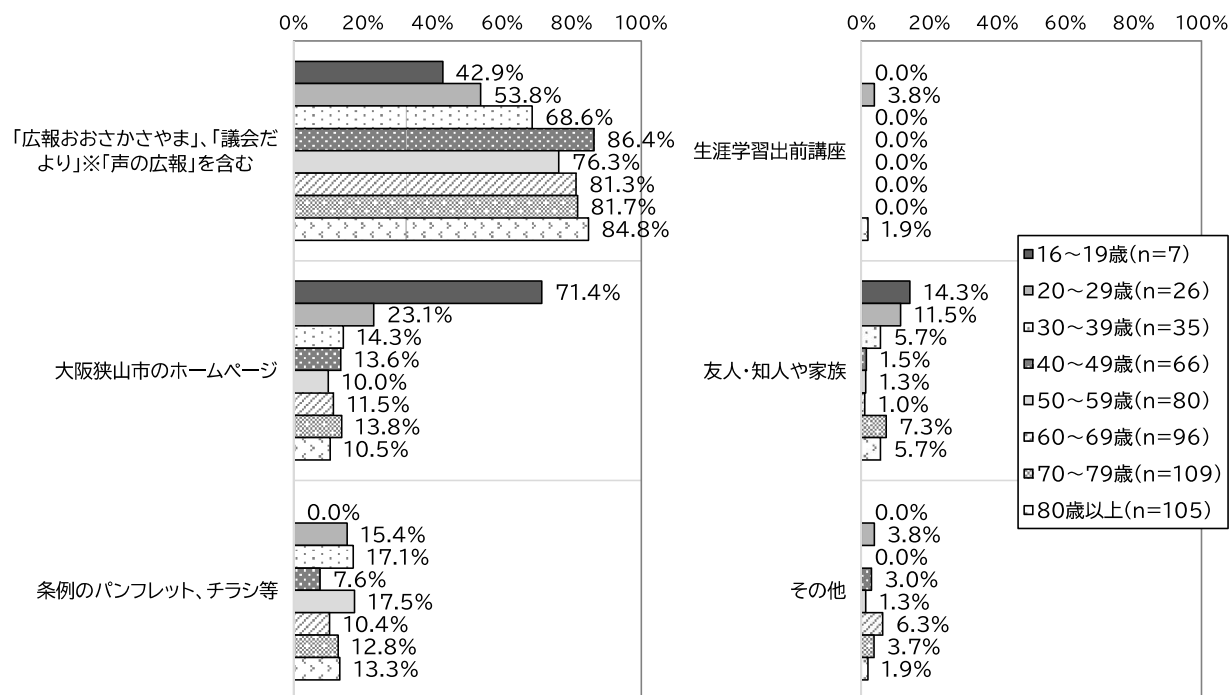


【年齢別】

○10 歳代から 30 歳代は他の年代に比べ「広報おおさかさやま」、「議会だより」※「声の広報」を含む」が低い。

○10 歳代は他の年代に比べ「大阪狭山市のホームページ」が高い。

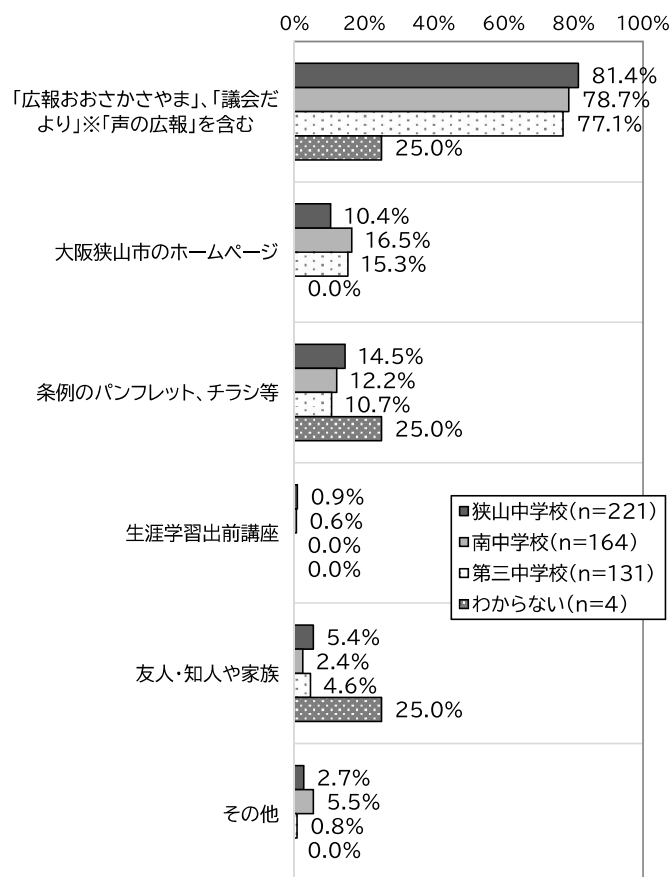
【年齢別】



【地区別】

○すべての地区で「広報おおさかさやま」、「議会だより」※「声の広報」を含む」が約 80%となっている。

【地区別】



◆その他の意見

カテゴリー	件数	記述内容
今回のアンケートから	5	今回のアンケート(2 件)
		このアンケートに同封されていたプリントを読んだ
		この封筒に入っていたから
		本アンケートの添付資料
その他	1	狭山検定ガイドブック
	1	市役所の方の出前授業
	1	PTA 活動をしている時に聞いたことがある
	1	わからない

問 11-3 あなたは、以下のような機会を通じて市政に参画したことがありますか。(項目ごとに○は1つずつ)

① 大阪狭山市の計画づくりについての説明会や話し合いの場などに参加したこと

【全体】

○「ない」が63.9%と最も高くなっている。

○令和元年の調査に比べ「ない」は6.0ポイント下がっており、「制度を知らない」は3.9ポイント上がっている。

【性別】

○女性は男性に比べ「ない」が高い。

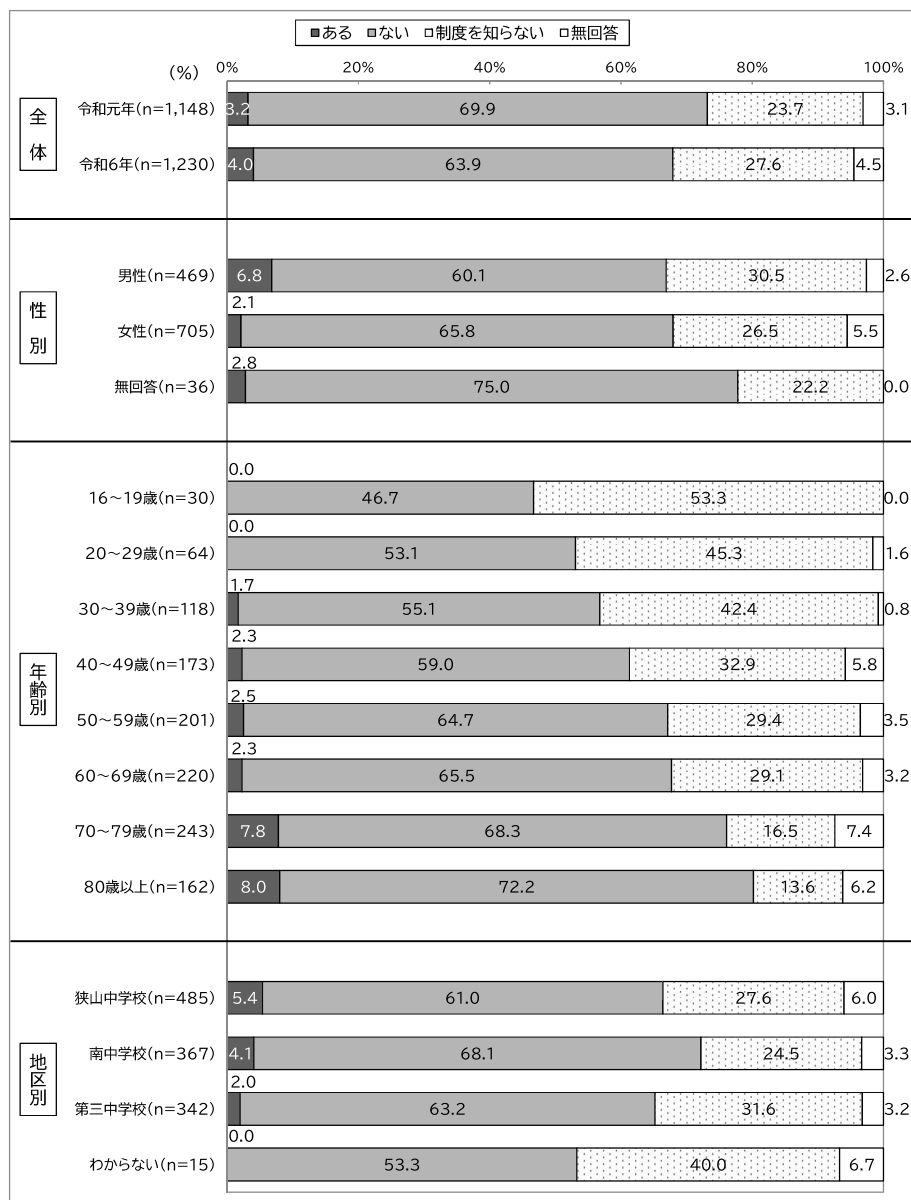
【年齢別】

○概ね年代が若いほど「制度を知らない」が高く、年代が高いほど「ない」が高い。

○70歳代、80歳以上は他の年代に比べ「ある」が高い。

【地区別】

○南中学校区は他の地区に比べ「ない」が高い。



② 大阪狭山市の審議会や検討委員会などの委員になったこと

【全体】

○「ない」が70.0%と最も高く、令和元年の調査と同様の傾向となっている。

【性別】

○男性は女性に比べ「ある」が高い。

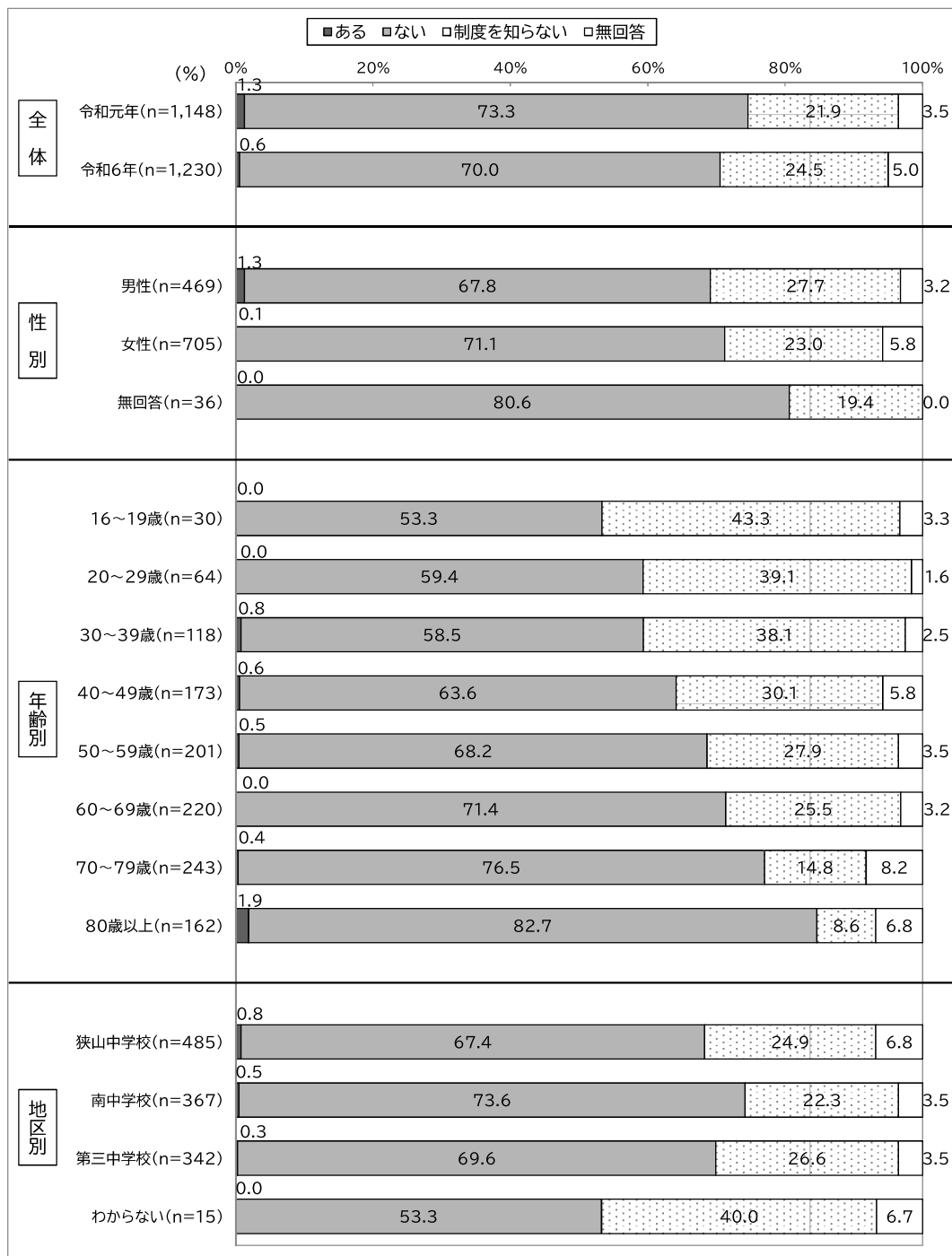
【年齢別】

○概ね年代が若いほど「制度を知らない」が高い。

○概ね年代が高いほど「ない」が高い。

【地区別】

○すべての地区で「ない」が最も高く、約70%となっている。



③ 大阪狭山市に対して意見を提出したこと(市長への提言や市民意見提出手続(パブリックコメント)など)

【全体】

○「ない」が69.0%と最も高くなっており、令和元年の調査に比べ5.0ポイント下がっている。

【性別】

○男女ともに「ない」が最も高く、約70%となっている。

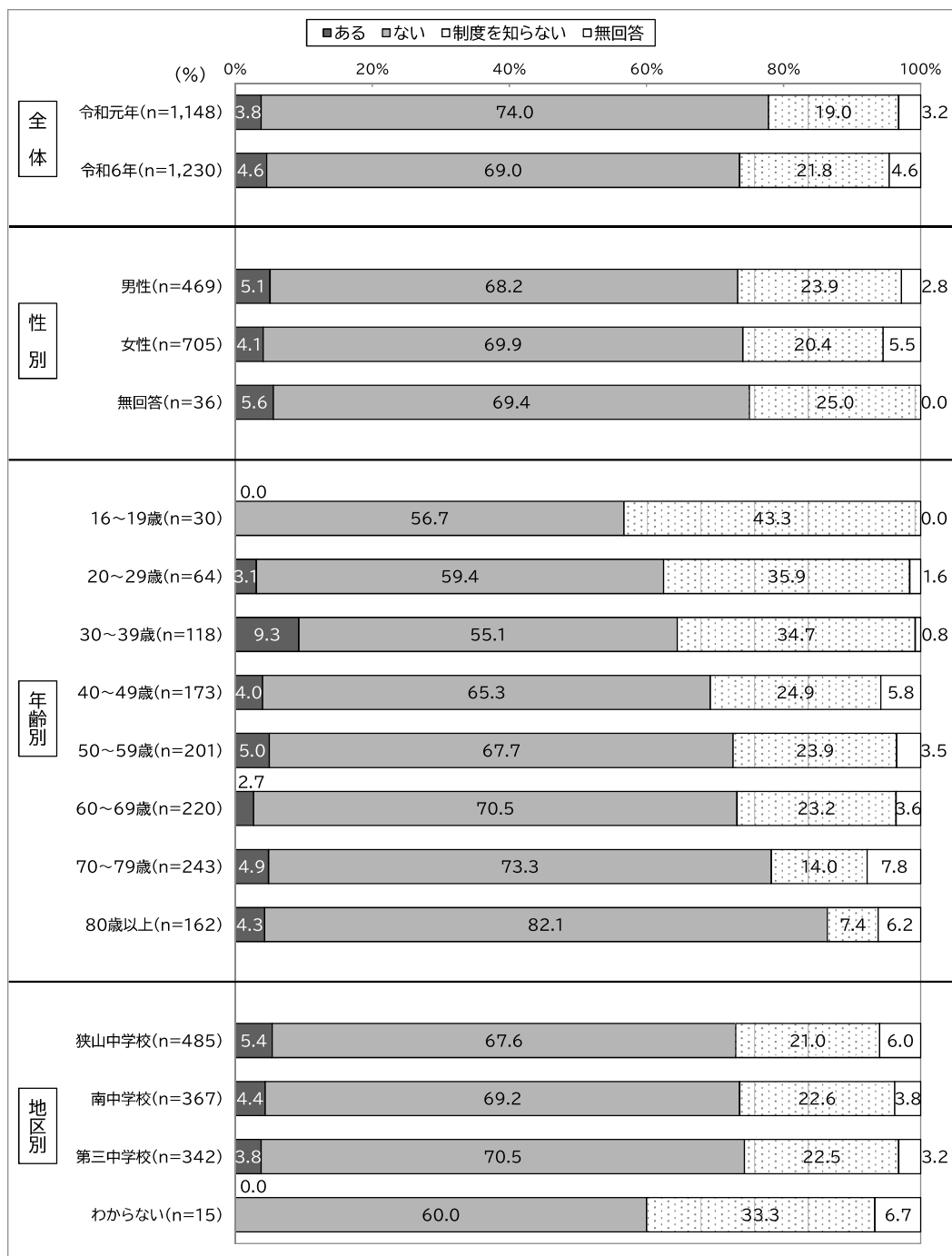
【年齢別】

○概ね年代が若いほど「制度を知らない」が高く、概ね年代が高いほど「ない」が高い。

○30歳代は他の年代に比べ「ある」が高い。

【地区別】

○すべての地区で「ない」が最も高く、約70%となっている。



④ 市民活動支援センターの行事や活動に参加したこと

【全体】

○「ない」が65.4%と最も高く、令和元年の調査と同様の傾向となっている。

【性別】

○男女ともに「ない」が最も高く、60%以上となっている。

【年齢別】

○概ね年代が若いほど「制度を知らない」が高い。

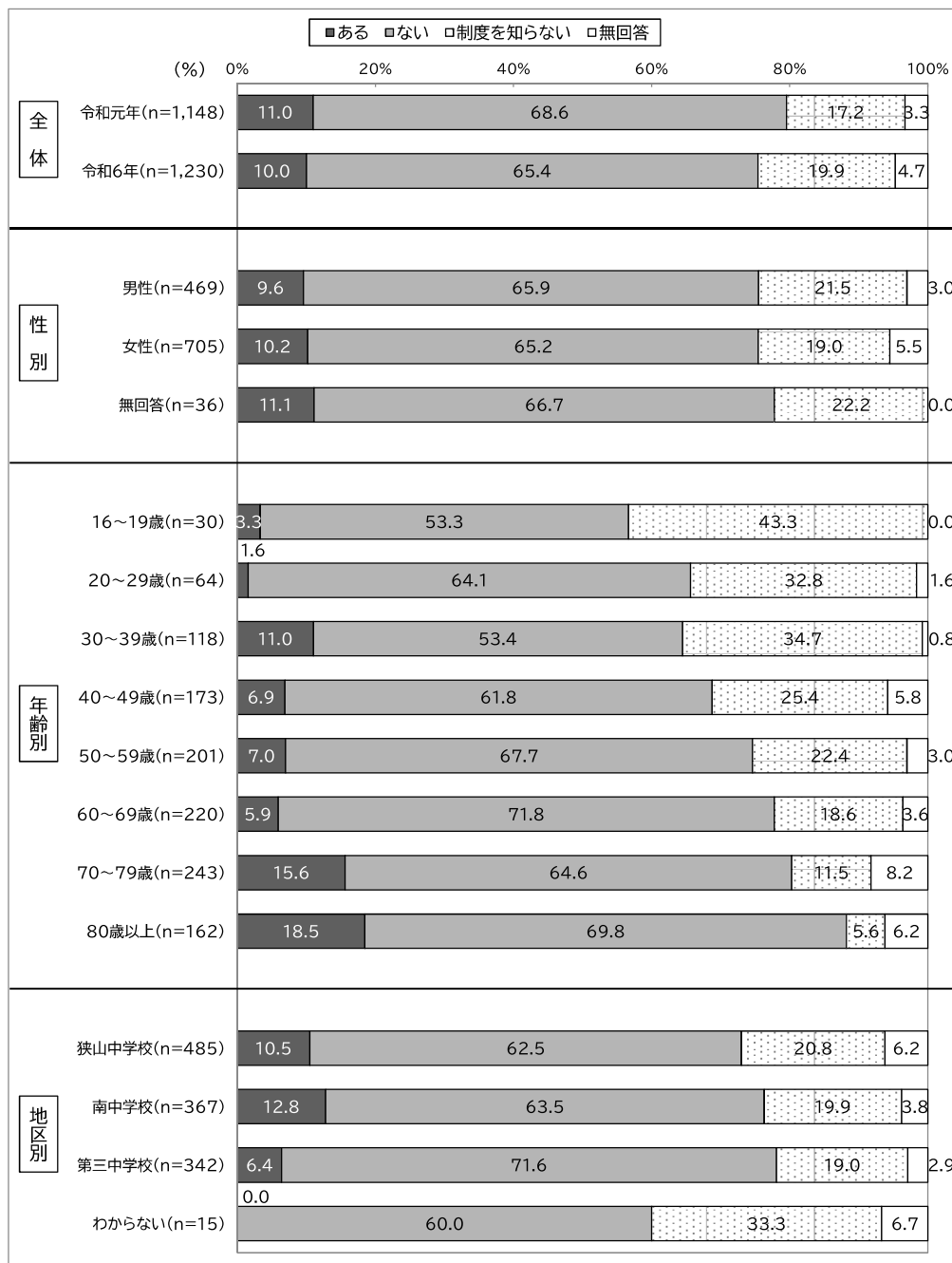
○60歳代は他の年代に比べ「ない」が高い。

○70歳代と80歳以上は他の年代に比べ「ある」が高い。

【地区別】

○南中学校区は他の地区に比べ「ある」が高い。

○第三中学校区は他の地区に比べ「ない」が高い。



問 11-4 市民意見提出手続（パブリックコメント）を多くの市民に利用してもらうためには、何が重要だと思いますか。（○はいくつでも）

【全体】

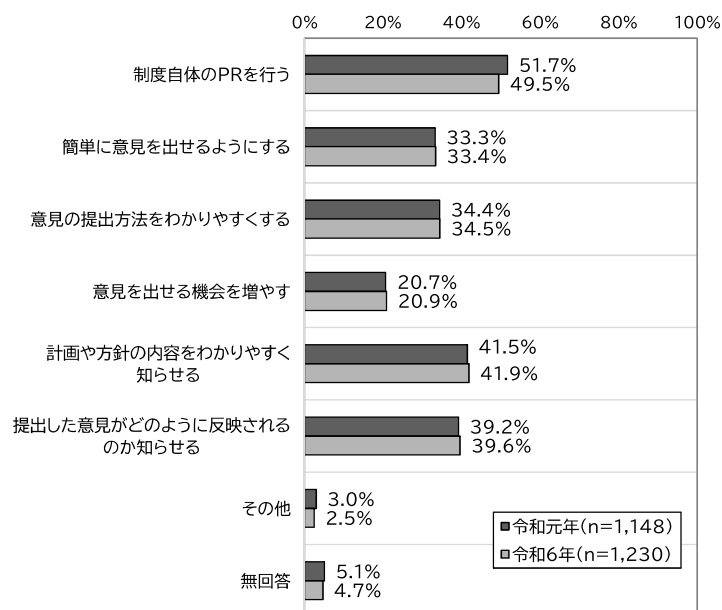
○「制度自体の PR を行う」が 49.5%と最も高く、次いで「計画や方針の内容をわかりやすく知らせる」が 41.9%、「提出した意見がどのように反映されるのか知らせる」が 39.6%となっている。

○令和元年と同様の傾向となっている。

	有効回答数（件）	制度自体のPRを行う	簡単に意見を出せる	意見の提出方法をわかりやすくする	意見を出せる機会を増やす	計画や方針の内容をわかりやすく知らせる	提出した意見がどのように反映されるのか知らせる	その他	無回答
全体	1230	49.5%	33.4%	34.5%	20.9%	41.9%	39.6%	2.5%	4.7%
男性	469	53.9%	33.5%	37.1%	24.1%	40.5%	40.5%	3.6%	3.0%
女性	705	47.2%	33.2%	33.3%	19.1%	43.3%	38.4%	1.7%	5.5%
無回答	36	36.1%	36.1%	30.6%	16.7%	36.1%	50.0%	2.8%	5.6%
16～19歳	30	43.3%	36.7%	23.3%	23.3%	50.0%	40.0%	3.3%	-
20～29歳	64	51.6%	42.2%	37.5%	29.7%	45.3%	35.9%	4.7%	3.1%
30～39歳	118	39.0%	50.0%	44.1%	21.2%	41.5%	39.0%	7.6%	0.8%
40～49歳	173	46.8%	46.2%	37.6%	22.0%	41.6%	45.1%	2.3%	1.7%
50～59歳	201	49.8%	36.8%	35.3%	18.4%	44.3%	42.8%	3.0%	1.0%
60～69歳	220	55.9%	25.0%	35.5%	22.7%	40.0%	32.3%	2.3%	1.8%
70～79歳	243	49.8%	25.5%	24.3%	20.2%	41.2%	43.6%	1.2%	9.9%
80歳以上	162	51.2%	24.1%	38.3%	17.3%	40.1%	34.6%	-	11.7%
狭山中学校	485	46.0%	35.3%	35.7%	20.4%	41.6%	38.8%	2.1%	4.7%
南中学校	367	51.5%	31.3%	32.4%	23.2%	40.3%	37.6%	2.7%	6.0%
第三中学校	342	52.9%	33.0%	35.1%	19.6%	43.3%	42.1%	2.9%	2.3%
わからない	15	46.7%	53.3%	40.0%	13.3%	53.3%	53.3%	6.7%	13.3%

第一位

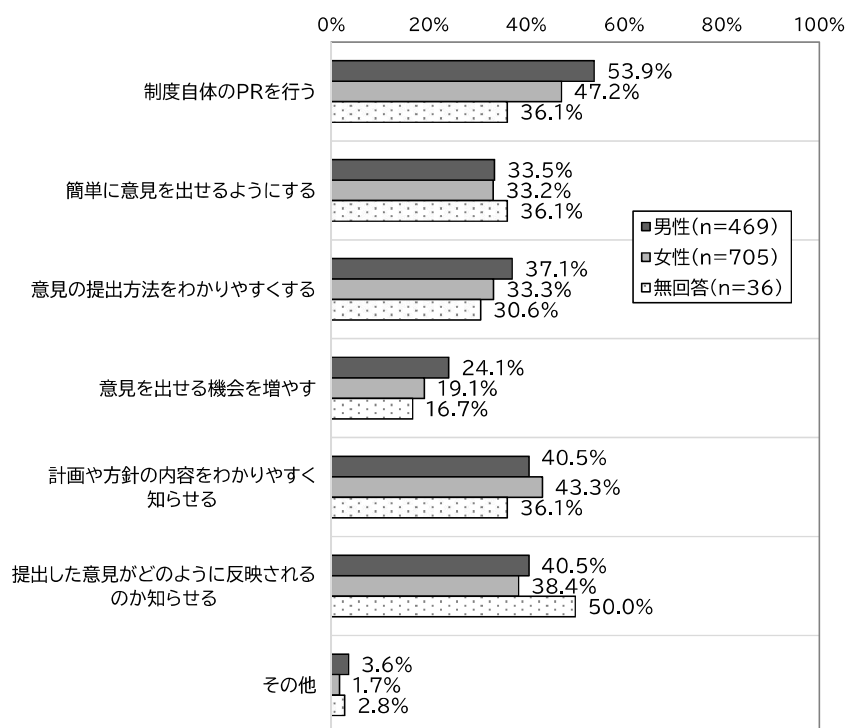
第二位



【性別】

○男女ともに「制度自体のPRを行う」、「計画や方針の内容をわかりやすく知らせる」が高い。

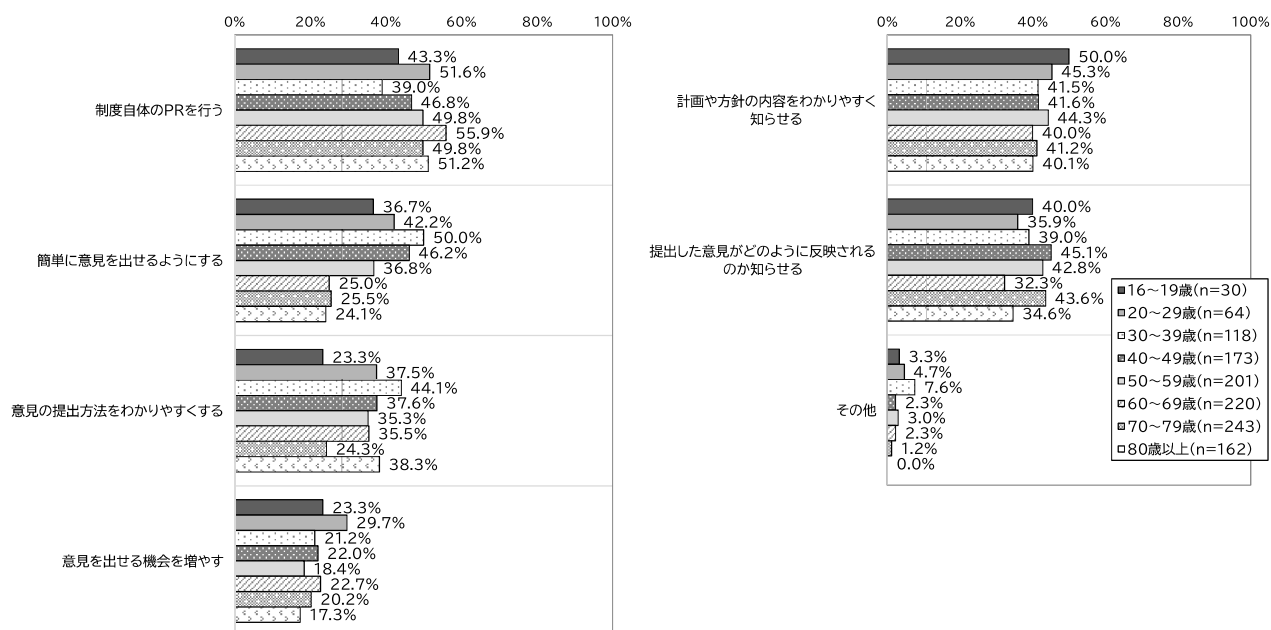
【性別】



【年齢別】

- 10 歳代と 70 歳代は他の年代に比べ「意見の提出方法をわかりやすくする」が低い。
- 20 歳代から 40 歳代は他の年代に比べ「簡単に意見を出せるようにする」が高い。
- 30 歳代は他の年代に比べ「意見の提出方法をわかりやすくする」が高く、「制度自体の PR を行う」が低い。

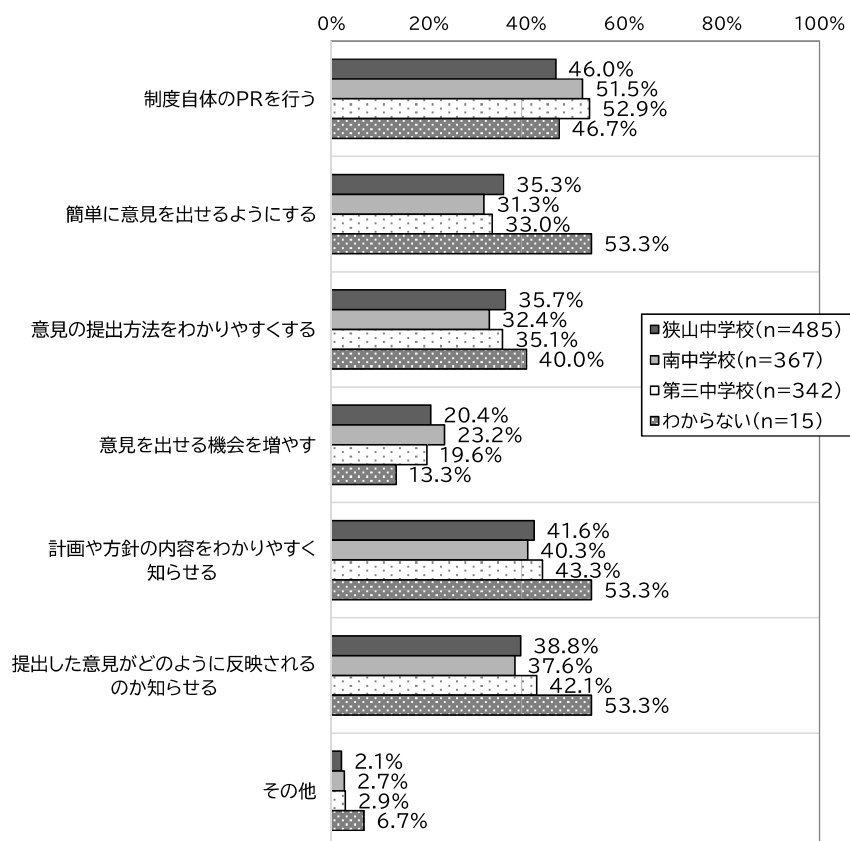
【年齢別】



【地区別】

○すべての地区で「制度自体の PR を行う」、「計画や方針の内容をわかりやすく知らせる」が高い。

【地区別】



◆その他の意見

カテゴリー	件数	記述内容
情報開示	3	情報開示をし、なかったことにはされないという市民の安心感の確保
		提出された意見を見ることができる
		市民の訴えに対して、まじめに対応する事。行政の都合、事情で事実を屈曲することを絶対にしない意志を持つことを教えます。
ネット利用	3	今あるかも知れませんがネットからの提出が出来るのなら利用したいです
		ネットで
		市の HP にもっと工夫を！
意見の実現	2	意見を実現する
		本当に反映させること
若年層への訴求	2	若者目線巻き込み
		職員含め、市政する人間の年齢を若くする
協力への還元	2	市内で利用出来る買物のポイントなど、少しでももらえるのなら提出する人は増えるかと思う
		報酬を用意する
色々な周知の方法や工夫	1	駅に掲示
	1	メールで送り、答えをのせる
	1	無作為に選出した市民に案件の回答をハガキで求める。
	1	幼稚園や小学校の先生が、保護者に伝えたり、スーパーやコンビニでの PR ポスターを貼ったり、意見箱の設置。
	1	学校の授業等で取り上げる
	1	興味を持ってもらう工夫をする
その他	1	求めたい意見を年代別に具体例を上げて提示してほしい。
	1	何も行動を起こさなかった時に起こる不利益と利益を分かっていたく(ただそのためにどうすればいいのかが分からないです。)
	1	市民個人の責任をわからせる。
	1	これも形式的すぎる、行政は意見公募手段をとる事で聞くことはするが取り込まれることはない。ゴールありきであり、⑥のように取り込まれた実績を OPEN にすればもっと増える。
	1	意見を出しても聞いてくれないと思っているので考えたことがない。
	1	そもそもパブリックコメントが必要なのか
	1	わからない(3 件)

問 11-5 市民意見提出手続（パブリックコメント）の周知方法で、知っているものはどれですか。（○はいくつでも）

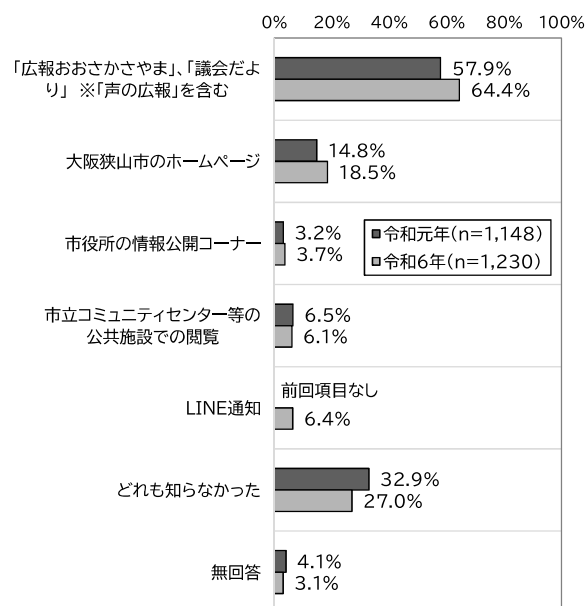
【全体】

○「「広報おおさかさやま」、「議会だより」が 64.4%と最も高く、次いで「どれも知らなかった」が 27.0%となっている。

○令和元年調査より「「広報おおさかさやま」、「議会だより」は 6.5 ポイント上がっており、「どれも知らなかった」は 5.9 ポイント下がっている。

	有効回答数（件）	「「広報おおさかさやま」、「議会だより」※「声の広報」を含む	大阪狭山市のホームページ	市役所の情報公開コーナー	市立コミュニティセンター等の公共施設での閲覧	LINE通知	どれも知らなかった	無回答
全体	1230	64.4%	18.5%	3.7%	6.1%	6.4%	27.0%	3.1%
男性	469	66.5%	24.1%	4.1%	7.0%	4.3%	25.4%	1.9%
女性	705	63.4%	15.3%	3.5%	5.5%	8.4%	27.7%	3.8%
無回答	36	58.3%	19.4%	2.8%	5.6%	-	33.3%	-
16～19歳	30	56.7%	33.3%	-	-	3.3%	36.7%	-
20～29歳	64	43.8%	23.4%	-	3.1%	10.9%	40.6%	-
30～39歳	118	50.8%	17.8%	5.1%	4.2%	12.7%	39.8%	2.5%
40～49歳	173	56.1%	23.7%	5.2%	3.5%	11.0%	34.1%	1.7%
50～59歳	201	67.7%	18.4%	3.0%	2.0%	5.5%	25.9%	1.5%
60～69歳	220	69.1%	20.0%	3.6%	7.3%	5.9%	25.5%	1.4%
70～79歳	243	69.5%	14.8%	2.9%	7.8%	2.9%	21.8%	4.9%
80歳以上	162	75.3%	14.8%	4.9%	13.6%	3.7%	13.6%	7.4%
狭山中学校	485	63.5%	19.8%	3.9%	4.1%	8.0%	26.0%	3.3%
南中学校	367	64.0%	16.3%	3.8%	9.8%	4.6%	28.3%	3.0%
第三中学校	342	67.0%	20.8%	3.5%	5.0%	6.4%	26.3%	2.3%
わからない	15	46.7%	6.7%	-	6.7%	-	40.0%	6.7%

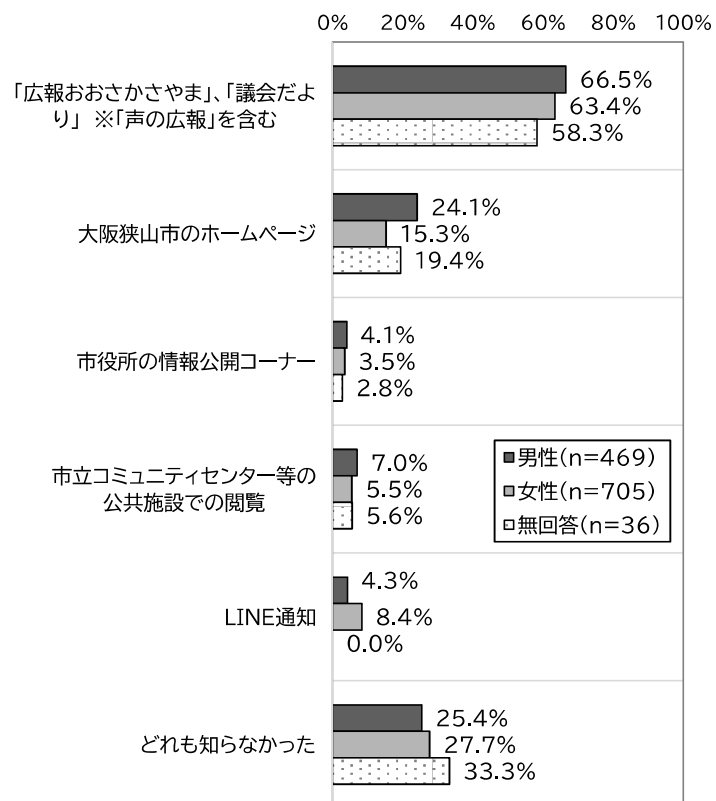
第一位 第二位



【性別】

○男性は女性に比べ「大阪狭山市のホームページ」が高い。

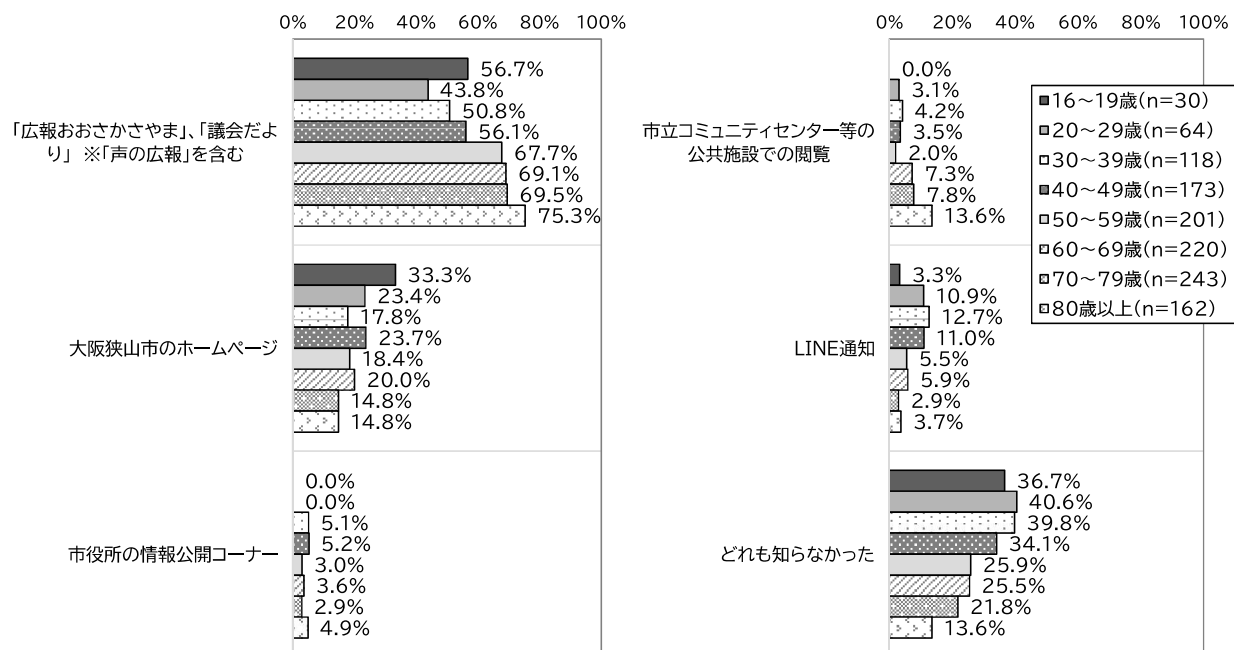
【性別】



【年齢別】

- 概ね年代が若いほど「どれも知らなかった」が高い。
- 概ね年代が高いほど「広報おおさかさやま」、「議会だより」※「声の広報」を含むが高い。
- 30 歳代は他の年代に比べ「LINE 通知」が高い。

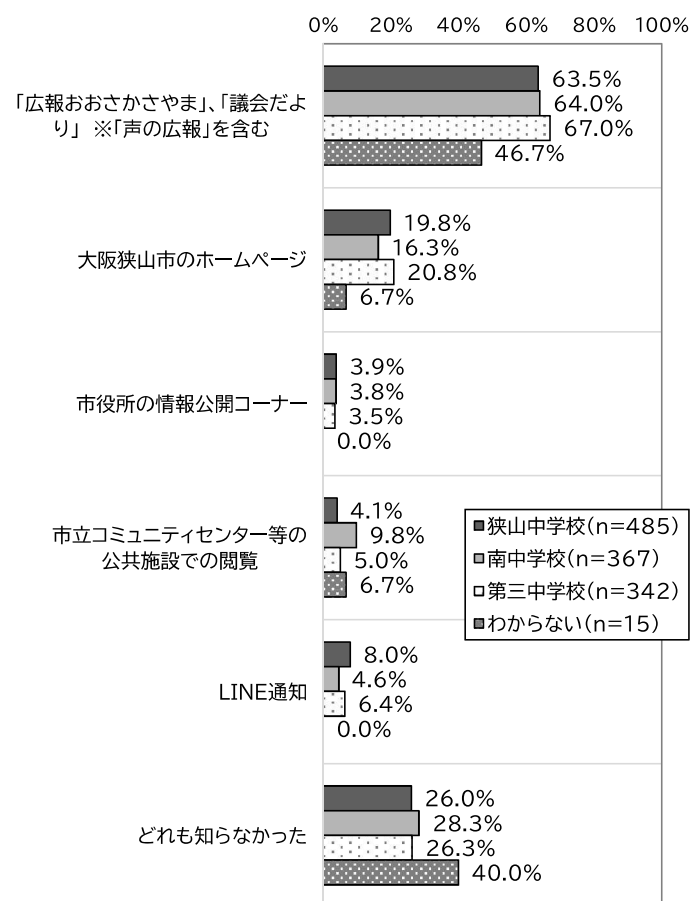
【年齢別】



【地区別】

- すべての地区で「広報おおさかさやま」、「議会だより」 ※「声の広報」を含むが 60%以上となっている。
- 南中学校区では、他の地区に比べ「市立コミュニティセンター等の公共施設での閲覧」が高い。

【地区別】



問 11-6 審議会等へより多くの市民に参画してもらうためには、何が重要だと思いますか。
(〇はいくつでも)

【全体】

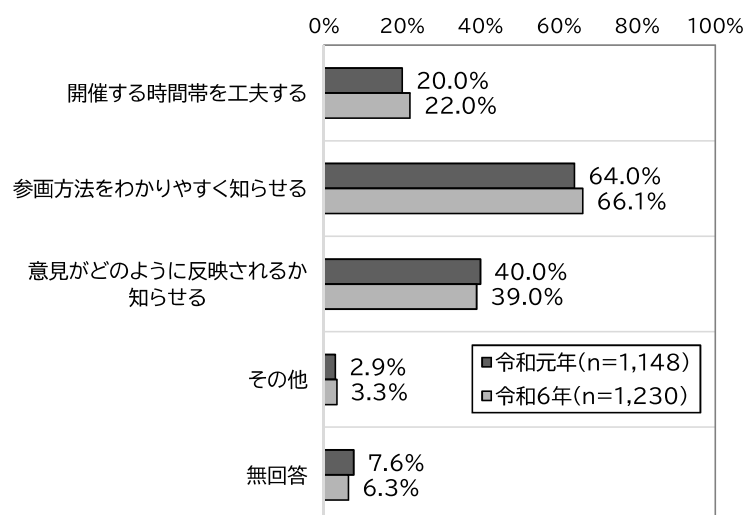
○「参画方法をわかりやすく知らせる」が 66.1%と最も高く、次いで「意見がどのように反映されるか知らせる」が 39.0%となっている。

○令和元年と同様の傾向となっている。

	有効回答数 (件)	開催する 時間帯を工 夫する	参画方法 をわかりや すく知らせる	意見がど のように反 映されるか 知らせる	その他	無回 答
全体	1230	22.0%	66.1%	39.0%	3.3%	6.3%
男性	469	23.9%	65.7%	40.7%	5.8%	4.5%
女性	705	20.6%	66.4%	38.2%	1.8%	7.1%
無回答	36	30.6%	75.0%	38.9%	-	2.8%
16～19歳	30	33.3%	83.3%	20.0%	-	-
20～29歳	64	28.1%	64.1%	43.8%	9.4%	1.6%
30～39歳	118	19.5%	68.6%	39.8%	5.1%	1.7%
40～49歳	173	31.2%	66.5%	42.2%	4.0%	1.2%
50～59歳	201	32.3%	67.7%	42.8%	3.5%	4.5%
60～69歳	220	19.1%	69.1%	41.8%	1.8%	3.6%
70～79歳	243	14.0%	62.6%	40.3%	3.3%	11.5%
80歳以上	162	13.0%	61.7%	25.9%	1.9%	15.4%
狭山中学校	485	21.2%	67.8%	42.1%	3.7%	5.4%
南中学校	367	18.0%	66.8%	36.8%	4.1%	7.1%
第三中学校	342	27.5%	63.5%	37.4%	2.0%	5.8%
わからない	15	26.7%	66.7%	26.7%	-	13.3%

第一位

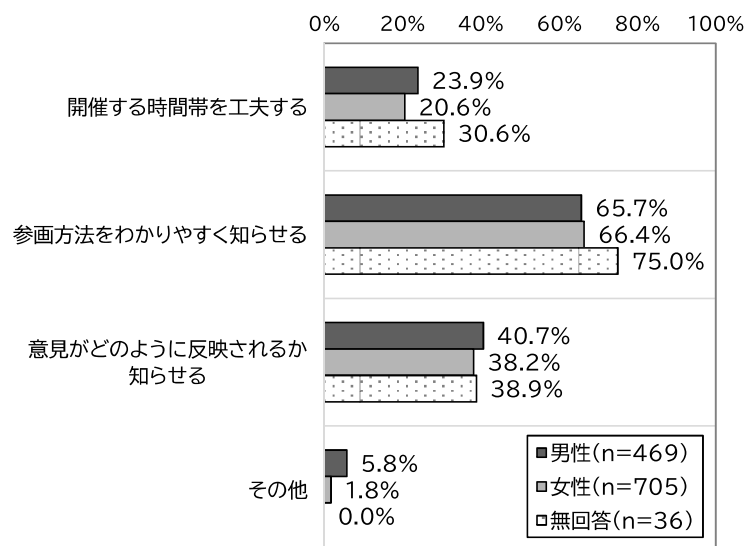
第二位



【性別】

○男女ともに「参画方法をわかりやすく知らせる」が60%以上となっている。

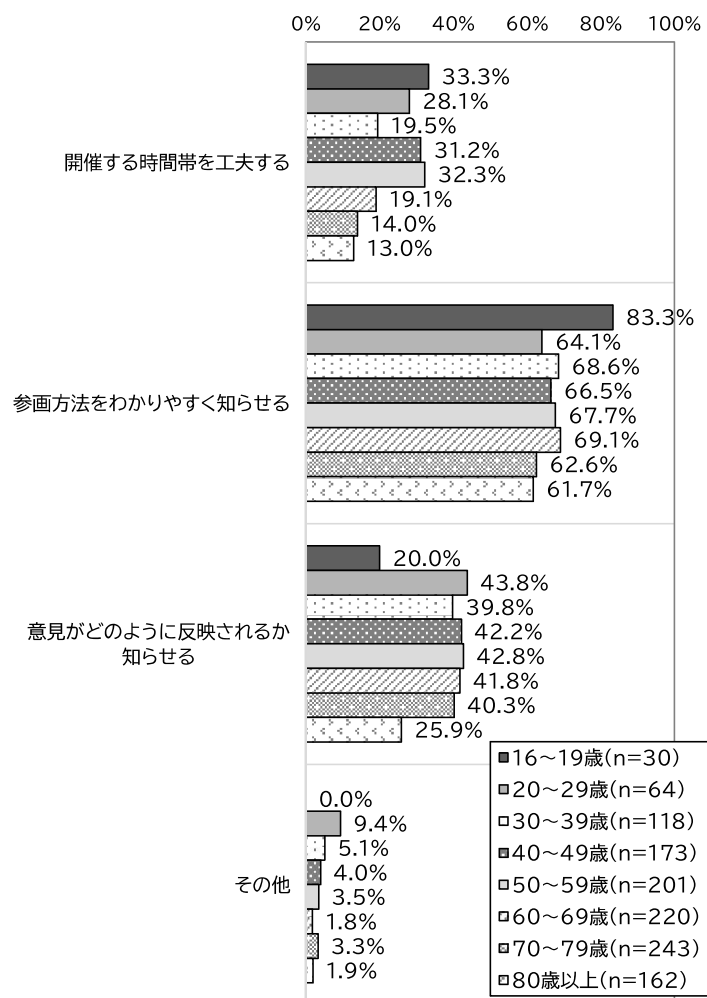
【性別】



【年齢別】

- 10 歳代、20 歳代、40 歳代、50 歳代は他の年代に比べ「開催する時間帯を工夫する」が高い。
- 10 歳代と 80 歳以上は他の年代に比べ「意見がどのように反映されるか知らせる」が低い。

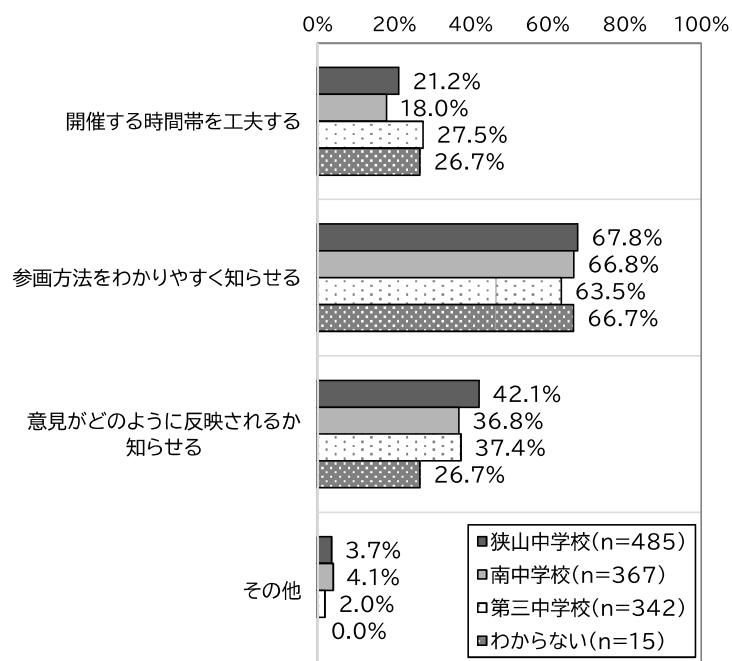
【年齢別】



【地区別】

○第三中学校区は他の地区に比べ「開催する時間帯を工夫する」が高い。

【地区別】



◆その他の意見

カテゴリー	件数	記述内容
オンラインでの実施	6	ネットで自宅から参加する事
		ネットで見れるようにする(2件)
		ネットで参加
		zoom アプリ
		オンライン実施
意見や成果の情報開示	3	どのような意見があるかを例示
		結論ありきで募って形式過ぎる。この様な意見が〇〇件、これが〇〇件と公表し、どれを採用したか、全て不採用かを知らせる。
		具体例を挙げてその場所等に何を実施出来たか告知する。
審議会について	2	審議会そのものが知らない
		審議会等の存在の認知拡大と心のゆとり
PR	2	PR
		もっと上手にPRする
参画での報酬	2	報酬(さやりんポイント等)
		報酬を用意する
メリットの提示	2	得すること。参加することのメリットを伝える。
		参画のメリット、結果、効果を広報する
広報の工夫	2	興味を持ってもらえる工夫をする
		そもそも政治に興味を持って貰えるように教育で工夫をするのも大事かと思います。
その他	1	開催していること自体をもっと周知させる
	1	皆が見るものに周知
	1	広報の情報で十分と思う
	1	市議会議員からの発信
	1	このようなDMでよいと思う
	1	子ども連れでも参加可
	1	敷居を低くする。
	1	年代での代表を決めて、意見を反映させる
	1	ランダムに選んで集合する
	1	月～金、9～5時は参加出来ない
	1	年齢的に参加出来ない
	1	出かけられない
	1	わからない

問 11-7 市政への参画、協働を推進するうえで課題と思われるものは何ですか。(〇はいくつでも)

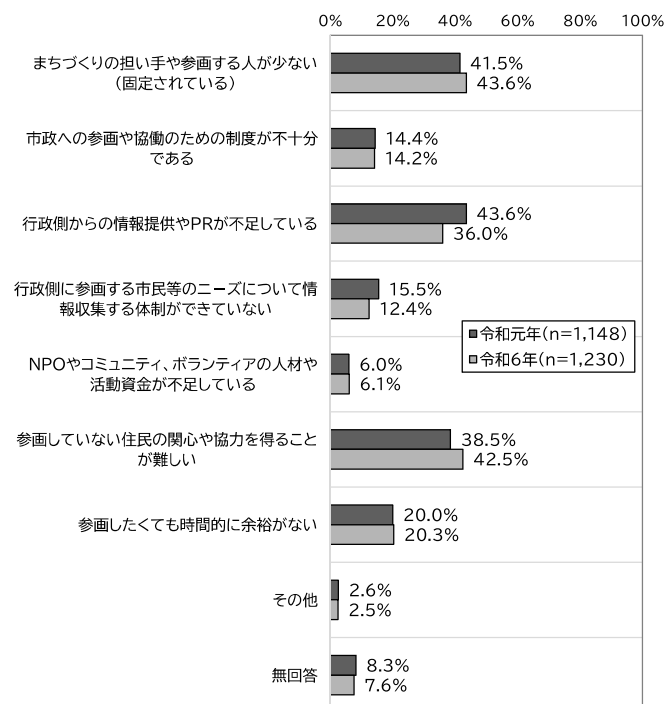
【全体】

○「まちづくりの担い手や参画する人が少ない(固定されている)」が 43.6%と最も高く、次いで「参画していない住民の関心や協力を得ることが難しい」が 42.5%、「行政側からの情報提供やPRが不足している」が 36.0%となっている。

○令和元年より「参画していない住民の関心や協力を得ることが難しい」は 4.0 ポイント上がっており、「行政側からの情報提供やPRが不足している」は 7.6 ポイント下がっている。

	有効回答数(件)	まちづくりの担い手や参画する人が少ない(固定されている)	市政への参画や協働のための制度が不十分である	行政側からの情報提供やPRが不足している	行政側に参画する市民等のニーズについて情報収集する体制ができていない	NPOやコミュニティ、ボランティアの人材や活動資金が不足している	参画していない住民の関心や協力を得ることが難しい	参画したくても時間的に余裕がない	その他	無回答
全体	1230	43.6%	14.2%	36.0%	12.4%	6.1%	42.5%	20.3%	2.5%	7.6%
男性	469	43.9%	16.6%	41.4%	14.3%	6.0%	43.9%	20.9%	2.1%	5.5%
女性	705	43.0%	12.3%	32.9%	10.8%	6.2%	42.3%	19.7%	2.4%	8.5%
無回答	36	52.8%	19.4%	27.8%	8.3%	5.6%	30.6%	30.6%	8.3%	5.6%
16～19歳	30	56.7%	10.0%	26.7%	6.7%	10.0%	36.7%	40.0%	-	-
20～29歳	64	37.5%	18.8%	43.8%	9.4%	7.8%	40.6%	26.6%	-	3.1%
30～39歳	118	44.9%	11.0%	30.5%	17.8%	4.2%	46.6%	38.1%	1.7%	5.1%
40～49歳	173	46.2%	17.3%	37.6%	12.1%	5.8%	47.4%	31.2%	2.3%	3.5%
50～59歳	201	43.8%	12.4%	28.4%	8.5%	7.0%	43.3%	29.4%	4.5%	2.5%
60～69歳	220	47.7%	11.4%	37.3%	13.6%	7.7%	48.2%	15.0%	1.4%	3.6%
70～79歳	243	38.7%	16.9%	39.1%	14.0%	5.3%	40.3%	7.8%	2.9%	13.6%
80歳以上	162	41.4%	14.8%	39.5%	11.1%	3.7%	29.6%	5.6%	2.5%	18.5%
狭山中学校	485	45.2%	13.0%	33.6%	11.8%	5.8%	37.9%	24.3%	3.5%	7.2%
南中学校	367	39.5%	15.5%	36.8%	13.6%	5.4%	45.5%	14.4%	1.9%	8.7%
第三中学校	342	47.4%	15.5%	39.8%	11.4%	7.6%	44.7%	21.6%	1.2%	6.1%
わからない	15	20.0%	-	33.3%	6.7%	-	53.3%	20.0%	6.7%	13.3%

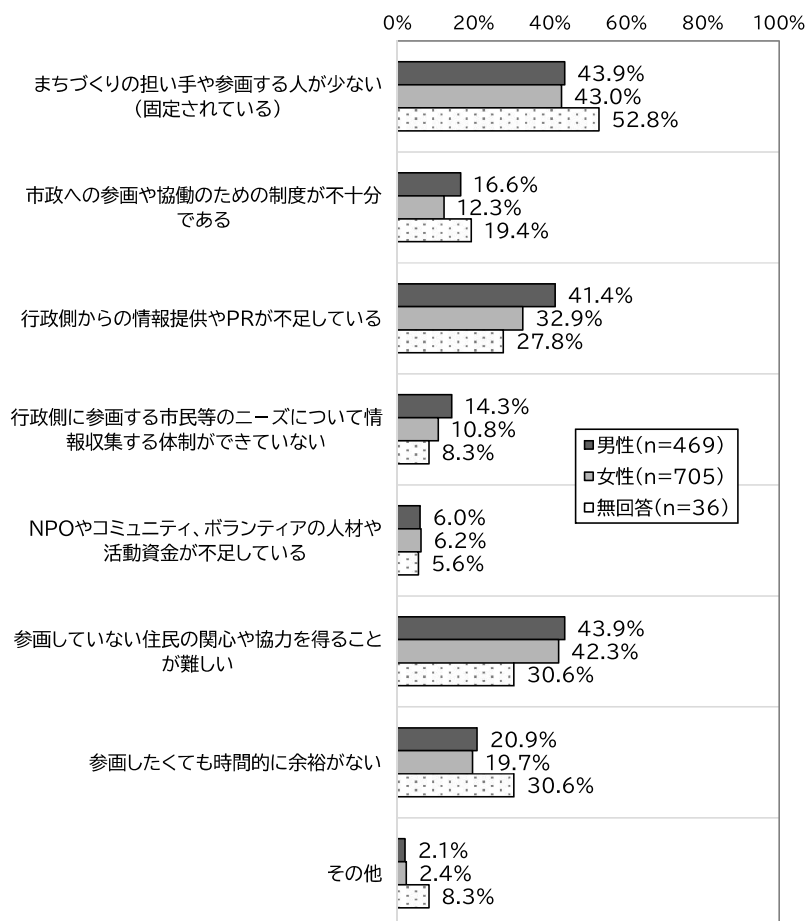
第一位 第二位 第三位



【性別】

○男性は女性に比べ「行政側からの情報提供やPRが不足している」が高い。

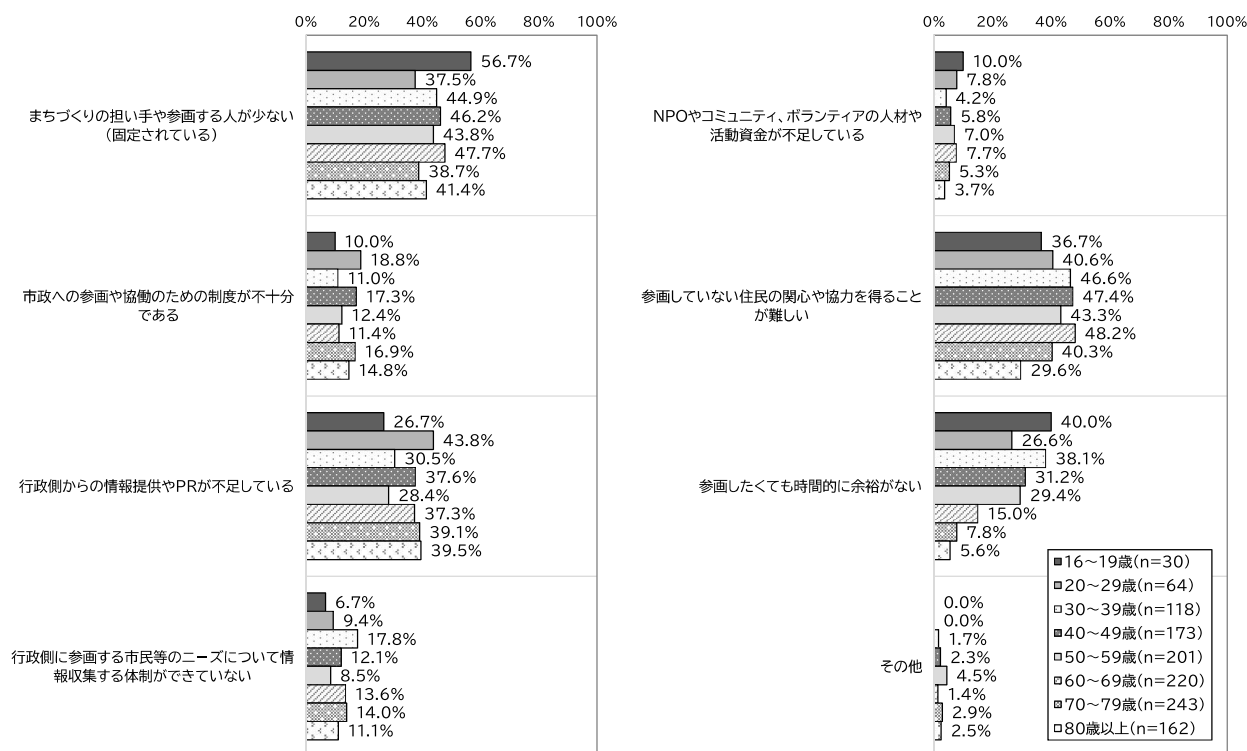
【性別】



【年齢別】

- 概ね年代が若いほど「参画したくても時間的に余裕がない」が高い。
- 20 歳代は他の年代に比べ「行政側からの情報提供やPR が不足している」が高い。

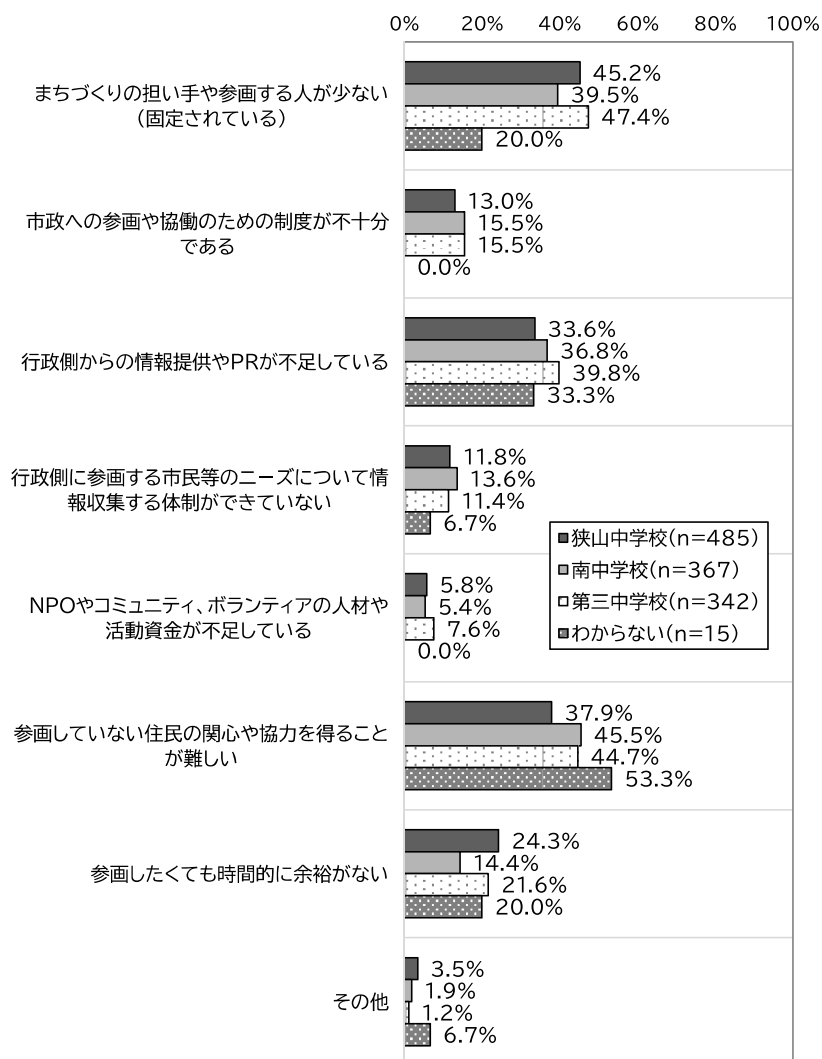
【年齢別】



【地区別】

- 狭山中学校区は他の地区に比べ「参画していない住民の関心や協力を得ることが難しい」が低い。
- 南中学校区は他の地区に比べ「参画したくても時間的に余裕がない」が低い。

【地区別】



◆その他の意見

記述内容
市民の意見をまじめに聞く姿勢が必要。
行政は本当に市民の意見を聞いて、出来ない理由だけを上げるのではなく、どうすればそれが実現できるかを考える。他自治体を参考にする本気度である。
何かの組織に入ると言う事でなく、言いたい時に発信できる環境。市の HP は一方通行、知らせているというスタンス、質問受付などが無い
市民が個人的でも気軽に参画できる会議。日常生活に依る討論意見交換を設けていくべき
興味を持たせる事
参加して変化があった事例の情報が少なく、メリットを感じない
時間はお金
市内の学校と連携、PTA などからの意見を汲み上げる
参画することへの魅力
参画が楽しくないし、楽しめる参画にする、企画する
市民個人の責任をわからせる。
若者の関心
誰もが安心して意見を出して、話し合いの出来る場にならないとも出来ません
年齢層が偏ってしまう
同じ市民たちで参画していて新鮮味が無い
派閥が確立してしまっている。
地元の人の中に入りにくい。
体力なし
老々介護
体が不自由のため
間違わないでほしい
考えたことがない
わからない(4 件)

問 11-8 あなたは、市政への参画、市民と行政との協働をさらに広げていくために、どのような条件があればよいと思いますか。（〇は3つまで）

【全体】

○「行政からの十分な情報提供」が 43.3%と最も高く、次いで「活動する時間的な余裕」が 30.8%、「趣味や経験が活かせる活動」が 30.3%となっている。

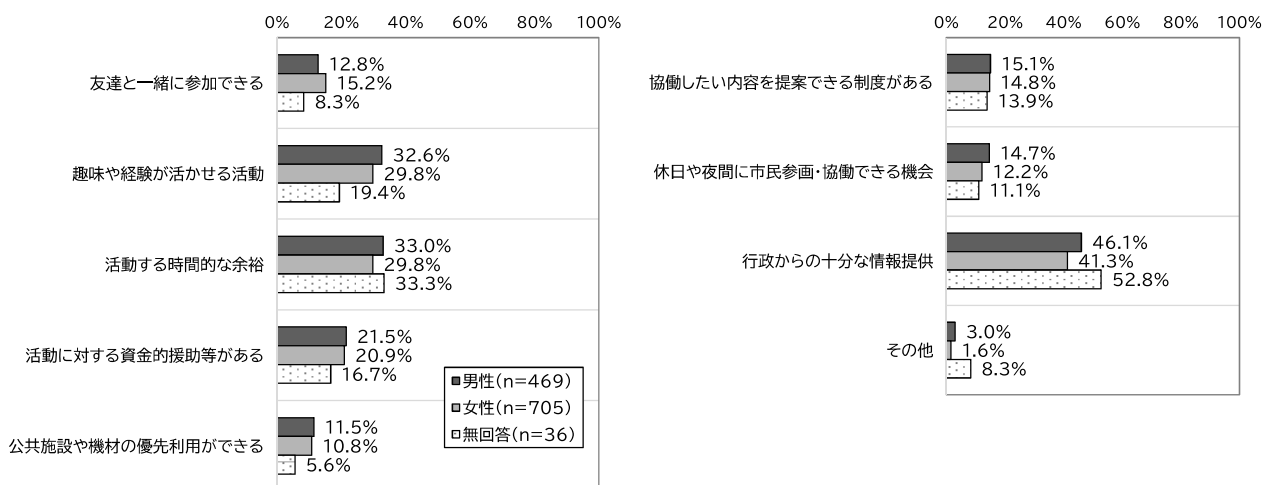
	有効回答数（件）	友達と一緒に参加できる	趣味や経験が活かせる活動	活動する時間的な余裕	活動に対する資金的援助等がある	公共施設や機材の優先利用ができる	協働したい内容が提案できる制度がある	休日や夜間に市民参画・協働できる機会	行政からの十分な情報提供	その他	無回答
全体	1230	14.1%	30.3%	30.8%	21.1%	11.1%	15.0%	13.3%	43.3%	2.4%	7.9%
男性	469	12.8%	32.6%	33.0%	21.5%	11.5%	15.1%	14.7%	46.1%	3.0%	5.5%
女性	705	15.2%	29.8%	29.8%	20.9%	10.8%	14.8%	12.2%	41.3%	1.6%	9.4%
無回答	36	8.3%	19.4%	33.3%	16.7%	5.6%	13.9%	11.1%	52.8%	8.3%	-
16～19歳	30	33.3%	40.0%	36.7%	40.0%	6.7%	13.3%	26.7%	30.0%	-	-
20～29歳	64	23.4%	31.3%	28.1%	31.3%	9.4%	14.1%	17.2%	21.9%	-	3.1%
30～39歳	118	9.3%	25.4%	47.5%	26.3%	15.3%	21.2%	18.6%	33.1%	3.4%	5.1%
40～49歳	173	11.6%	28.3%	44.5%	27.7%	9.8%	16.2%	15.6%	39.9%	3.5%	3.5%
50～59歳	201	11.4%	32.3%	43.8%	23.4%	6.0%	14.4%	16.4%	38.3%	2.0%	3.5%
60～69歳	220	13.6%	34.5%	29.1%	20.9%	12.7%	12.7%	10.5%	51.4%	1.8%	2.3%
70～79歳	243	11.9%	29.6%	16.9%	14.4%	14.8%	14.4%	9.1%	52.3%	3.3%	13.6%
80歳以上	162	20.4%	27.8%	11.7%	8.6%	9.3%	13.0%	7.4%	49.4%	1.2%	21.6%
狭山中学校	485	14.8%	32.6%	32.6%	23.7%	8.5%	14.0%	12.8%	40.4%	1.6%	8.0%
南中学校	367	11.4%	29.2%	26.4%	17.7%	13.6%	16.1%	12.8%	47.4%	3.0%	9.3%
第三中学校	342	16.1%	29.2%	33.6%	20.8%	11.7%	14.9%	14.9%	43.9%	2.3%	5.8%
わからない	15	6.7%	33.3%	26.7%	20.0%	20.0%	6.7%	-	46.7%	-	6.7%

第一位 第二位 第三位

【性別】

○男女ともに「行政からの十分な情報提供」が最も高い。

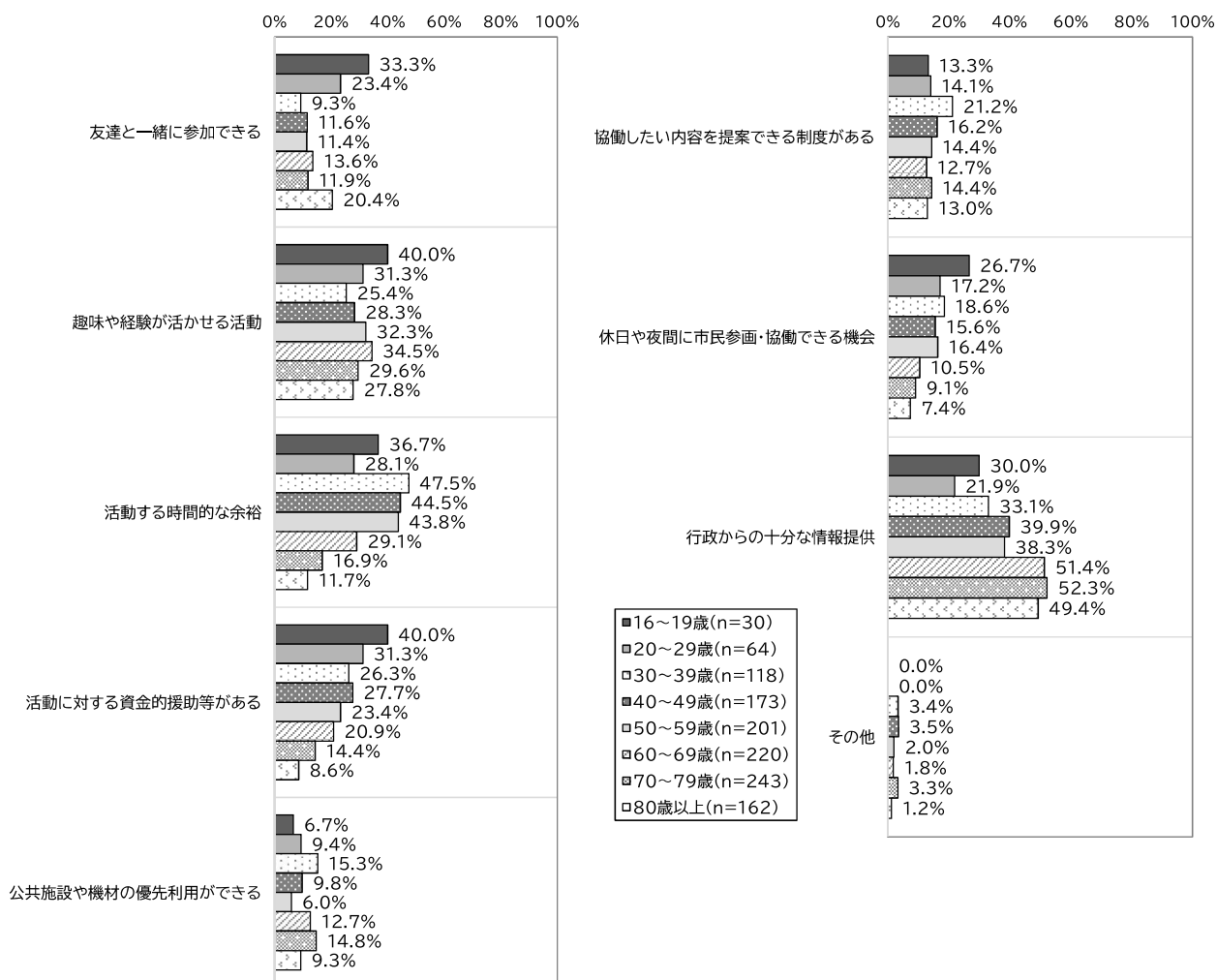
【性別】



【年齢別】

- 概ね年代が若いほど「活動に対する資金的援助等がある」が高い。
- 10 歳代、20 歳代、80 歳以上は他の年代に比べ「友達と一緒に参加できる」が高い。
- 10 歳代は他の年代に比べ「休日や夜間に市民参画・協働できる機会」が高い。
- 30 歳代から 50 歳代は他の年代に比べ「活動する時間的な余裕」が高い。
- 60 歳代以上は他の年代に比べ「行政からの十分な情報提供」が高い。

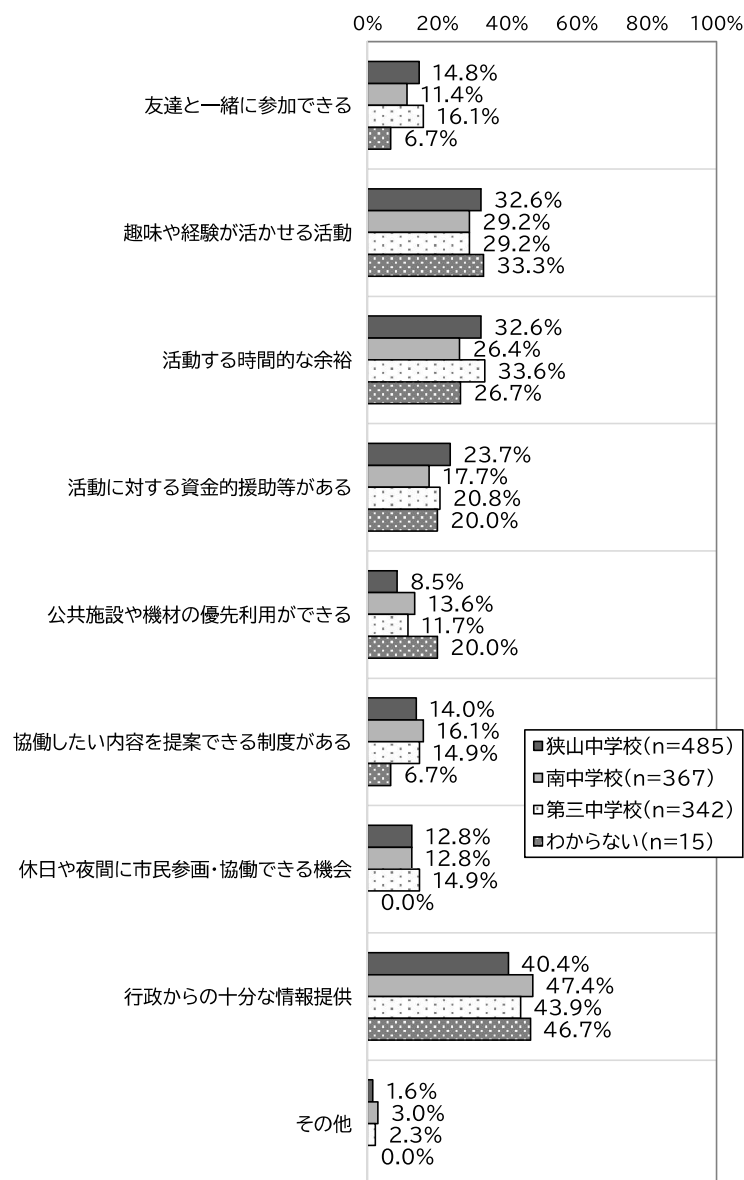
【年齢別】



【地区別】

○すべての地区で「行政からの十分な情報提供」が最も高い。

【地区別】



◆その他の意見

記述内容
気軽さ。今の日本は国民負担率は 48%とも言われています。皆が自分の生活や今の生きるのに一生懸命で自分の街の都市計画でどうなっているかを時間を割いてまで、調べ、参画しようとする市民は少ないと感じます。余裕がないからこそ大阪狭山市の事は市長に任せて自分たちは自分の生活を守るのに必死な人が少なくないと思います。このアンケート調査で大阪狭山自治基本条例を初めて知りました。多くの市民に市政の参加を促すのであれば①調べなくても街づくりの進展や変化がわかりやすい仕組み、②隙間時間や息抜きに参画したり意見を送りやすい仕組みがあれば良いなど感じました。※あくまで個人の感じた事なので主感です。
協同する事のメリットを伝える。
参画、共同のメリット。活かされてる、結果
税の優遇などあれば
ちゃんと一人の意見を聞いて受け入れてくれる場を作る。自分の意見を押し付けるのではなく、話し合っより良い方に向かえるようになればと思います。
LINE 等の SNS によるハードルの低い機会を設ける
新しい方が参加しやすい受け入れ体制が重要
ネット
ベビーシッターなど、子どもの預け先を確保できること
市民と行政がサヤカホールで飲み会をする(自己負担は一人 5000 円)
そもそも市政に興味がない。趣味等余暇活動が充実してい場合、地域活動はしない
役所との関係は単なる行政の窓口という認識しかない
高齢者の移動手段の充実
本題からズレますが皆、自分の生活で手が一杯
生活に余裕がないのでわからない
時間はあるが気分が乗らない
何も出来ない
なし
わからない(3 件)

問 11-9 大阪狭山市自治基本条例の条文について、見直すべき点はありますか。(○は1つ)

【全体】

○「ない」が72.8%と最も高くなっており、令和元年の調査と同様の傾向となっている。

【性別】

○男性は女性に比べ「ある」が高い。

【年齢別】

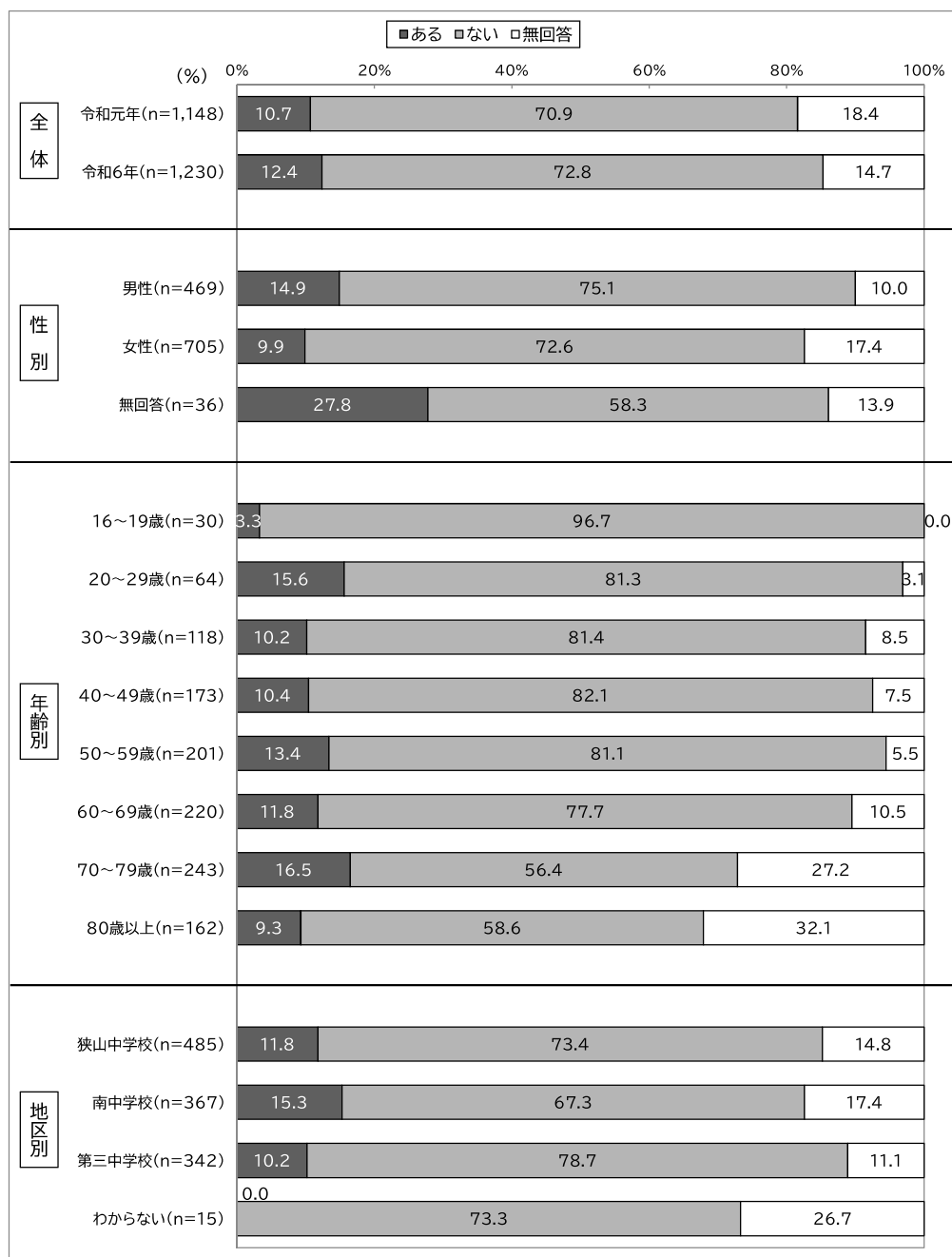
○概ね年代が若いほど「ない」が高い。

○70 歳代は他の年代に比べ「ある」が高い。

【地区別】

○南中学校区は他の地区に比べ「ある」が高い。

○第三中学校区は他の地区に比べ「ない」が高い。



上記で「1. ある」と答えた方にお聞きします。次の項目の中で、見直すべき点はどこだと思いますか。あてはまるものをお選びください。（〇はいくつでも）

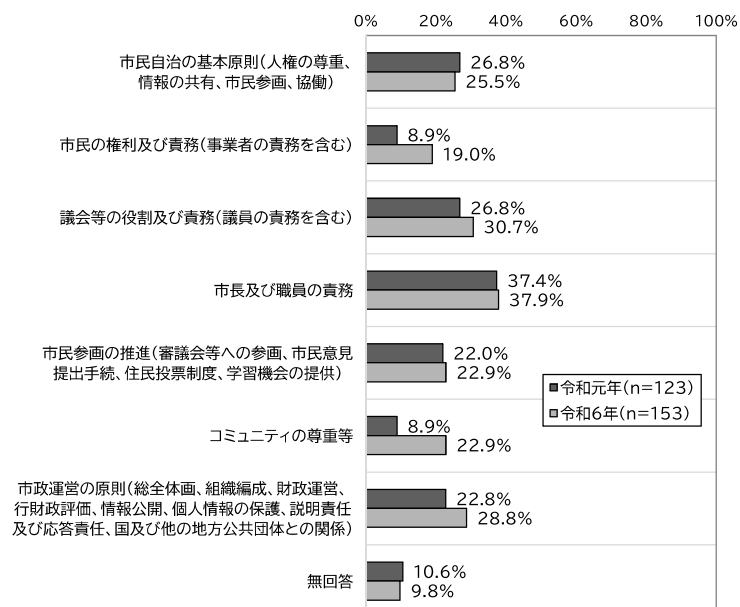
【全体】

- 「市長及び職員の責務」が 37.9%と最も高く、次いで「議会等の役割及び責務（議員の責務を含む）」が 30.7%、「市政運営の原則（総全体画、組織編成、財政運営、行財政評価、情報公開、個人情報の保護、説明責任及び応答責任、国及び他の地方公共団体との関係）」が 28.8%となっている。
- 令和元年より、「議会等の役割及び責務（議員の責務を含む）」が 3.9 ポイント、「市政運営の原則」は 6.0 ポイント上がってる。また、「市民の権利及び責務（事業者の責務を含む）」は 10.1 ポイント、「コミュニティの尊重等」は 14.0 ポイントと、前回調査よりも大幅に上がっている。

	有効回答数（件）	協働の共有、市民参画、情報原則（市民自治の基、市民参画、情報原則）	市民の権利及び責務（事業者の責務を含む）	議会等の役割及び責務（議員の責務を含む）	市長及び職員の責務	市民参画の推進（審議会等への参画、市民意見提出、手続、学習機会、住民投票制度、学習機	コミュニティの尊重	市政運営の原則（総全体画、組織編成、財政運営、行財政評価、情報公開、個人情報の保護、説明責任及び応答責任、国及び他の地方公共団体との関係）	無回答
全体	153	25.5%	19.0%	30.7%	37.9%	22.9%	22.9%	28.8%	9.8%
男性	70	27.1%	18.6%	38.6%	38.6%	27.1%	22.9%	27.1%	8.6%
女性	70	25.7%	17.1%	21.4%	34.3%	20.0%	22.9%	27.1%	11.4%
無回答	10	10.0%	20.0%	40.0%	40.0%	10.0%	20.0%	40.0%	10.0%
16～19歳	1	-	100.0%	-	-	-	-	-	-
20～29歳	10	40.0%	30.0%	20.0%	30.0%	50.0%	40.0%	30.0%	-
30～39歳	12	41.7%	16.7%	25.0%	50.0%	16.7%	33.3%	58.3%	8.3%
40～49歳	18	16.7%	22.2%	55.6%	50.0%	22.2%	27.8%	27.8%	-
50～59歳	27	11.1%	11.1%	25.9%	37.0%	3.7%	14.8%	18.5%	18.5%
60～69歳	26	19.2%	15.4%	26.9%	23.1%	34.6%	19.2%	19.2%	7.7%
70～79歳	40	35.0%	17.5%	32.5%	40.0%	17.5%	15.0%	25.0%	7.5%
80歳以上	15	26.7%	20.0%	26.7%	40.0%	40.0%	33.3%	46.7%	20.0%
狭山中学校	57	24.6%	12.3%	28.1%	29.8%	17.5%	24.6%	22.8%	12.3%
南中学校	56	30.4%	19.6%	26.8%	39.3%	26.8%	14.3%	28.6%	10.7%
第三中学校	35	20.0%	25.7%	40.0%	45.7%	25.7%	31.4%	37.1%	2.9%
わからない	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第一位

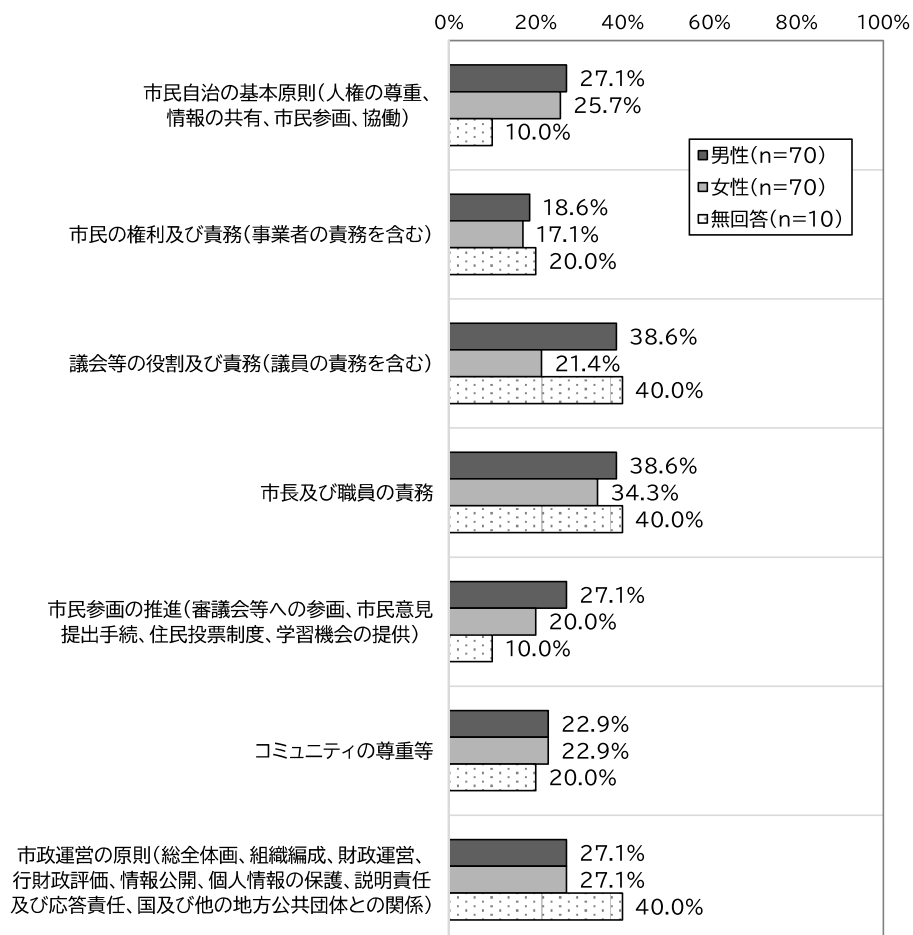
第二位



【性別】

○男性は女性に比べ「議会等の役割及び責務(議員の責務を含む)」が高い。

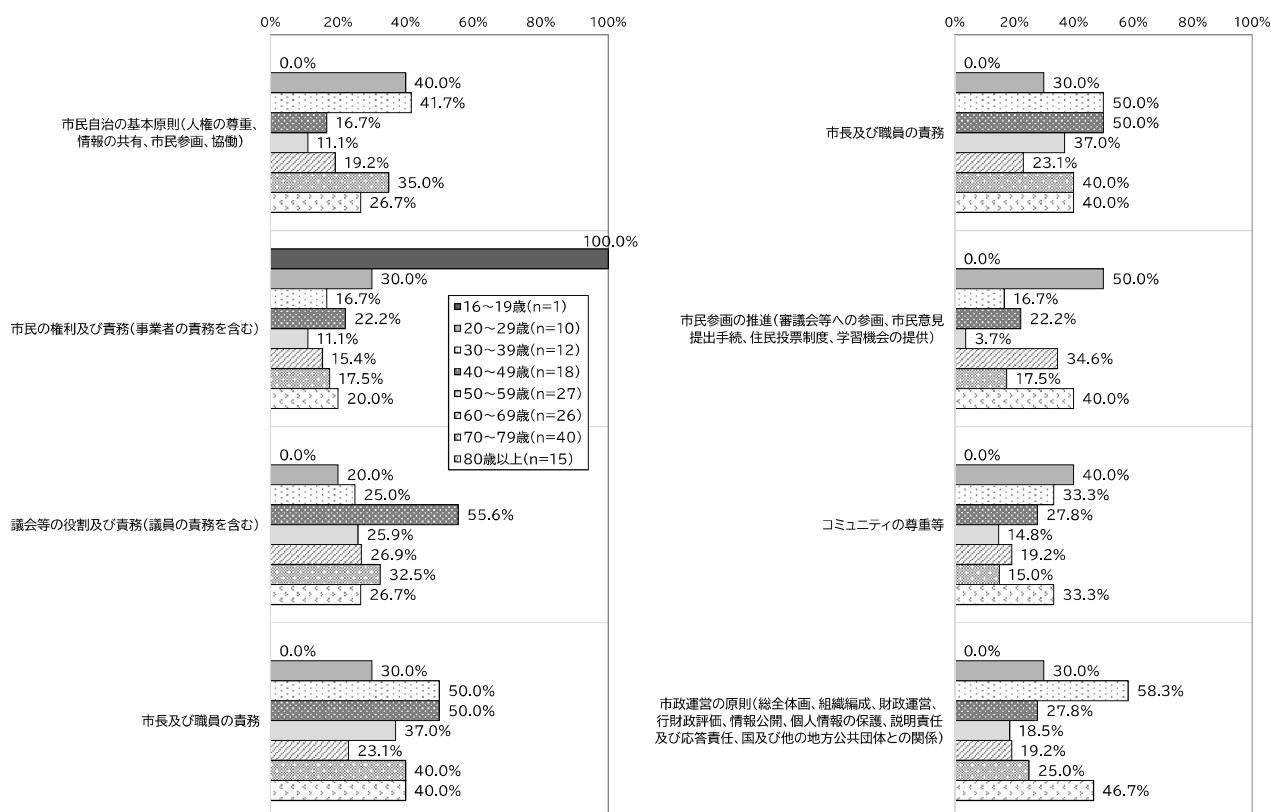
【性別】



【年齢別】

- 20 歳代は他の年代に比べ「市民参画の推進(審議会等への参画、市民意見提出手続、住民投票制度、学習機会の提供)」が高い。
- 50 歳代は他の年代に比べ「市民参画の推進(審議会等への参画、市民意見提出手続、住民投票制度、学習機会の提供)」が低い。

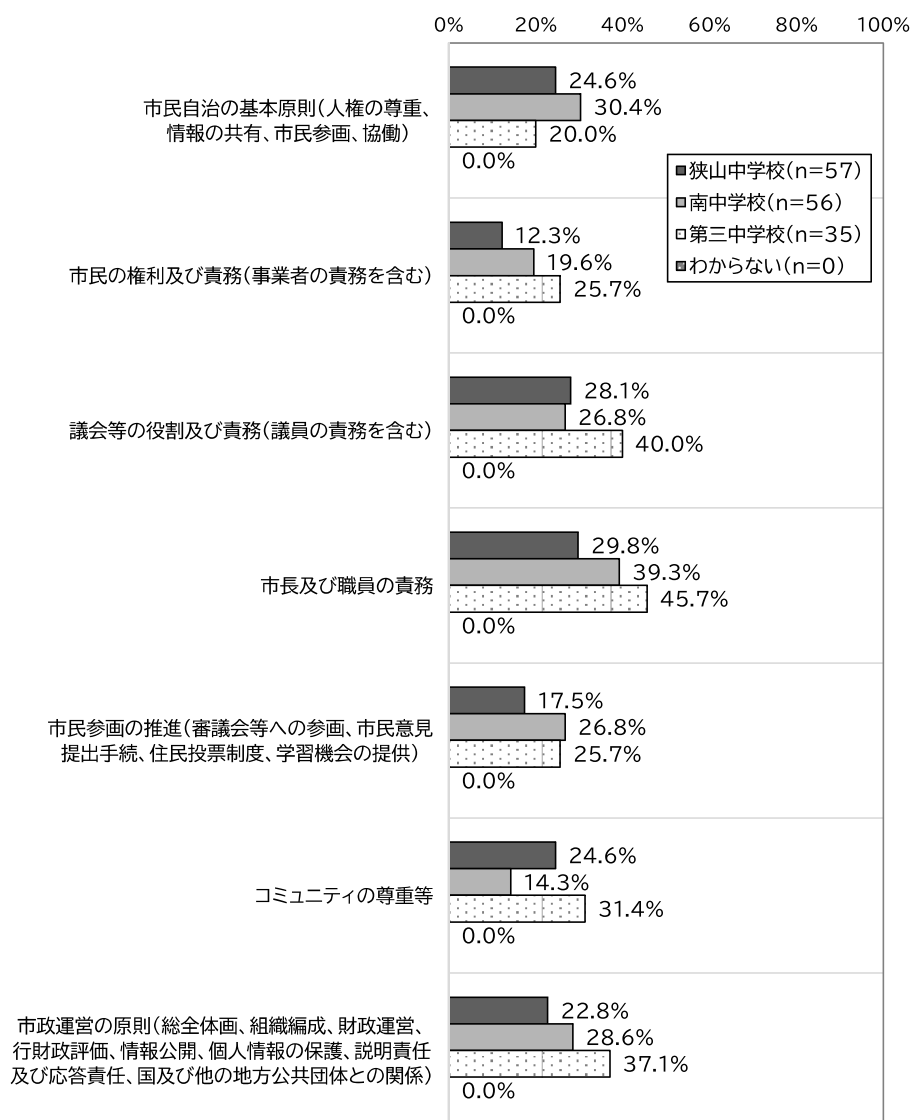
【年齢別】



【地区別】

○すべての地区で「市長及び職員の責務」が最も高い。

【地区別】



◆具体的に修正すべき内容

見直すべき 点の回答	記述内容
7	(コミュニティの尊重等) 第 21 条 2 市民は、積極的に…コミュニティを好まない人もいるので個人を尊重すべきだと思う
—	あまりにかたい文章過ぎて、これに違反するとかしないとかを問うための文章なら必要ないのではないかと思います
3	大阪狭山市の基本条例の施行日は平成 22 年 4 月 1 日、大阪府狭山市議会基本条例の施行日は平成 31 年 4 月 1 日であり、議会等の役割について整合性がない条項がある。例えば自治基本条例 13 条 2 項と市議会基本条例 5 条は努力義務でいいのかの点について検討すべきと考えます。
1, 2, 3, 4, 5, 6, 7	各人の誠実な行い
—	議員の数を減らす。
3, 5	議員の削減、議会へ自治組長の参画
—	近大病院移転に対しての住民の意見を聞いて欲しかった。開かれたコミュニケーションの場が必要
1, 2, 3, 4, 5, 6, 7	具体的な活動の場と頻度を入れるべきである
—	公務員は市民(納税者で主権者である。)の意見に真摯に臨むべきである事を常に行うように心構ける。べきであるが、役人根性丸出しで自分たちの都合で優光しがちである。ここを改めるべきであると思います。基本条例の諸々以前に”人”としての資質を疑うような役人が多いと感じます。
3, 4	国政で討論されるような事を本議会で言っても意味が無い。大阪狭山市の市長、議員で未だに自分たち、上から目線で何も市民の日々の不便を聞く耳を持たない、市民のリーダーシップを感じられない
1, 2	個別法の規定がなくても、国が自治体に必要な指示ができて、閣議決定だけでできて、自治体は応じる義務がある。国が好き放題できるという法は非常にヤバイのです。こういった監視社会へ導こうとする法律は即刻廃止すべき！
2, 6	自治会に入会している人も少なくなってるので、お互いに市民が協力する意識や体制が出来ていない。空家も多くなると犯罪等への心配も増えてくる。高齢者の運転で危険な場面をよく見るので、免許返納の推進をする。
5	市内にある企業が活動しやすい様にもう少し市として体制を整えるべきだと思う。調整区域を無くす。市税を増やさないと何も出来ない。市の職員は市内の人材ですべきだと思う
7	修正ではありませんが、全職員(正職員からアルバイト)に徹底して頂きたいと思います
3, 4	小規模の市政だからこそ、全国的レベルで住みやすさ1位を目指して欲しい。310 の国道を徒歩や自転車で通行してみてください。(→事故して当たり前の狭さです。)今後の高齢化を踏まえて災害時にも対応できる様、道路を整備するべき。
—	条例に評価の観点は無いのでしょうか？責務や責任という言葉がたくさん書かれていますが、それを検証し評価するシステムが無いとただの絵に描いたモチになってしまいますし、たくさん、人と時間とお金をかけた事がムダになるだけで誰のためにもなりません。特に議員さんや市長、職員さんは市民の税金で生活しているのだから、きちんと責務を果たしたかどうか市民の皆さんに知らせる義務があるのではないのでしょうか
—	条例文の文字が小さく、間隔が狭いので高齢者には読みづらいです。もう少し広くとって読みやすい箇条書きをお願いします。
—	親友に話をすると田舎やなどと言われます。只、人としてです。子供、若い方が住みやすい、楽しく過ごせるように少しずついいと願っています。でも、感謝もしております。
—	前文だけで良い
3, 4, 7	そよらが建設され、道の混み具合が、更に悪くなった。(歩行者が危ない)並行して、道路状況もシミュレーションして混まない様に、改善すべきである。市長及び議員は大阪狭山市に住んでいるのであれば、細部にまで、心配りをすべきであり、忙しいは理由にならない。
5	第 19 条、市政に関する重要事項を決める時に「住民投票」を実施するとあるが、であれば第 3 条(1)は市民ではなく、住民とすべきではないか？
7	第 24 条、2、行財政評価現市長一期目の太陽光パネルの大池他の設置。

見直すべき 点の回答	記述内容
4	第 5 章第 14 条 1 への追加として、運営に市民に疑念を持たれた場合、市民への説明の場を設ける etc
—	第一章総則の第 3 条(1)市民について市内に居住するもの、働く者とするが、もしも外国籍の居住者が増えて自分の国に有利な意見や発言をくり返せば日本人にとっては住みづらくても外国人には住みやすい街づくりに変わってしまうのではないかと 1 人の日本人市民として不安を感じるのですが良い案はありますか？※あくまでも個人の主観で文章や物事の理解が悪いのでそう感じたという感想です。
4	誰もが市役所に話を聞きに行った時はたらい回しみたいに回答でなしに的確に答えてほしい。
1	どのような町をめざすのか、また、節約やお金の使い方だけでなく、自治体として成長していくかに含めるべき
—	先ずは文字の簡素化が必要だと思います。誰しもが読みやすく、理解しやすい内容でなければ意味が無いのでは？
3, 4, 5	もう少し市政で何をやっているのか開示し、市民の意見を聞くことから始めてほしい。例えば家の前の道がガタガタになってても、どこに話せばよいかわからない。不備あれば、住民にも投票権を扱え、拒否権を考えるべき。
1, 2, 3, 4, 5, 6, 7	もっと簡単な言葉で簡潔にして欲しい。
—	わかりやすさ
—	何となく書いてる内容はわかるが読むこと自体、億劫になる文章。
6	市民の参加がしやすい制度にしてほしい パートナーシップ制度や事実婚なども認めて欲しい
6	小学生が見ても分かりやすいように簡単に書けばいいと思います。活字だらけで読む気がしない
1, 4, 7	第 8 章総合計画、第 22 条 2・3 近畿大学病院、帝塚山学院大学の移動にともなう大阪狭山市の損失は計り知れないものがある。市民は大反省を！！

参考：問 11-9(抜粋)

⇒上記で「1. ある」と答えた方にお聞きします。次の項目の中で、見直すべき点はどこだと思いますか。あてはまるものをお選びください。(○はいくつでも)

1. 市民自治の基本原則（人権の尊重、情報の共有、市民参画、協働）
2. 市民の権利及び責務（事業者の責務を含む）
3. 議会等の役割及び責務（議員の責務を含む）
4. 市長及び職員の責務
5. 市民参画の推進（審議会等への参画、市民意見提出手続、住民投票制度、学習機会の提供）
6. コミュニティの尊重等
7. 市政運営の原則（総合計画、組織編成、財政運営、行財政評価、情報公開、個人情報保護、説明責任及び応答責任、国及び他の地方公共団体との関係）

具体的に修正すべき内容があれば、ご記入ください。

問 11-10 「大阪狭山市自治基本条例」の前文には、“市民、議会及び市がそれぞれ市民自治の担い手であることを自覚し、誰もが主体的にまちづくりに参画し、協働する市民自治の確立”をめざすとあります。そこで、市民自治の実現のために、望ましいと思う自治のあり方はどれですか。(○は1つ)

【全体】

- 「市民、事業者、市民団体等と行政のパートナーシップ(協働)によりそれぞれが役割と責任を果たしながら地域社会を発展させる」が 46.5%、「地域社会(自治会等)のつながりが弱体化しているため、行政が積極的な役割を果たす」が 34.2%となっている。

【性別】

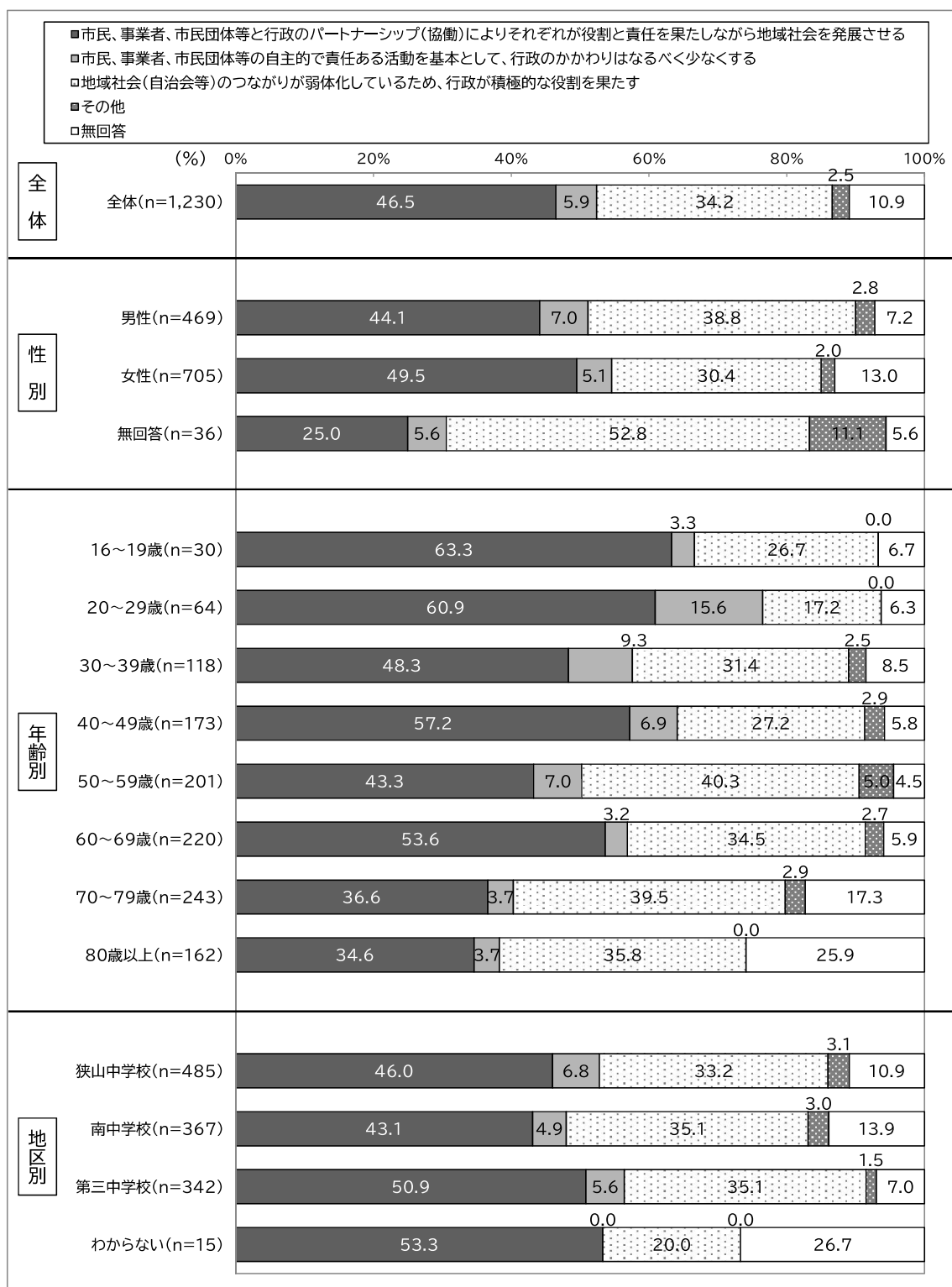
- 男性は女性に比べ「地域社会(自治会等)のつながりが弱体化しているため、行政が積極的な役割を果たす」が高い

【年齢別】

- 概ね年代が若いほど「市民、事業者、市民団体等と行政のパートナーシップ(協働)によりそれぞれが役割と責任を果たしながら地域社会を発展させる」が高い。
- 20 歳代は他の年代に比べ「市民、事業者、市民団体等の自主的で責任ある活動を基本として、行政のかかわりはなるべく少なくする」が高い。
- 50 歳代は他の年代に比べ「地域社会(自治会等)のつながりが弱体化しているため、行政が積極的な役割を果たす」が高い。

【地区別】

- すべての地区で「市民、事業者、市民団体等と行政のパートナーシップ(協働)によりそれぞれが役割と責任を果たしながら地域社会を発展させる」が最も高く、「地域社会(自治会等)のつながりが弱体化しているため、行政が積極的な役割を果たす」が続いている。



◆その他の意見

記述内容
3 を基本とするが、状況が変わり、軌道にのれば 2 で良いと思う。
高齢化によって自治活動が困難になってきている
個人が人と接するよりネット社会にある様に、人と関わる事が減っている。また行政への文句は言うが、自ら参加したい市を変えたいと思う人は少ない。市の現状に満足している事もあると思う。今回のような書面で意見を提出するのは参画しやすいと思います。
子供、大人、男・女、責任・無責任に関係なく自由に意見が言える市民。目先の利権や行政の意見を尊重はするが、大阪狭山市の何世代先もの未来を見据えた結果につながる市長の判断力と決断力。改悪の多い今の日本にとって全ての力が必要だと感じます。
さらなる正規雇用の創出
時代の流れにより地域に対する 1 人 1 人の意識が希薄になっている。自分の町は自分で行動・意見を行うことによって変化させることが出来るんだと思わせることが重要と思う。
地元の人の意識の改善、スクラム組み過ぎて気分がよくない、自活に参加する気が失せる。
主権者である、市民(納税者)をないがしろにしない。事を常に意識すべきと考えます。
そもそも興味がない
ボランティア活動の活性化による前年代との関わりを持ち、ひきこもり孤独老人を減らす。社会参加させて地域の活性化。
文字で書くだけでは何も伝えられない、議員や執行部でもっと市民に伝えるべき
自治会等が消滅していくのが世の流れ、寂しい事ではあるけどコミュニティや助け合いのやり方が昔の田舎の町内会のような感じになると若い人はついていけない、しいては狭山市から離れて行くのでは？
条文を読んでも具体的にどうするのか、さっぱりわからない。
大学誘致、大学連携
わからない(9 件)